
東郷町立地適正化計画 検討基礎資料集

＜本冊子について＞

- ・本冊子は、東郷町立地適正化計画を検討する際に必要とされる現況整理を行った際の、資料をまとめたものです。
- ・現況整理は2017年度に行いましたが、人口やサービス施設分布など計画検討の上で特に重要と考えられる項目については、2018年4月に時点更新を行っています。
- ・東郷町立地適正化計画をお読みいただく際の、参考的な資料として活用ください。

目 次

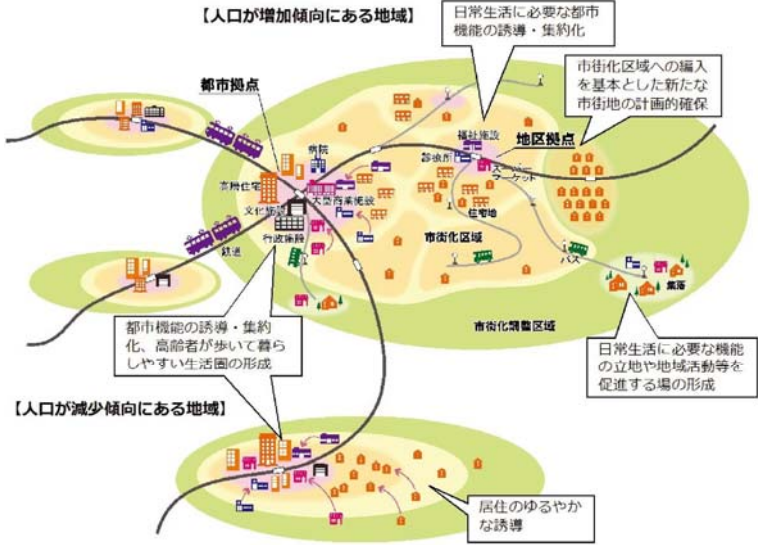
資料Ⅰ．関連する計画や他部局の施策に関する整理	1
1．愛知県の計画等	1
1.1 愛知の都市づくりビジョン～都市計画の基本的方針	
1.2 名古屋都市計画区域の整備、開発及び保全の方針（名古屋都市計画区域マスタープラン）	
2．東郷町の計画等	4
2.1 第5次東郷町総合計画	
2.2 東郷町都市計画マスタープラン	
2.3 東郷町人口ビジョン・まち・ひと・しごと創生総合戦略	
2.4 東郷町地域公共交通網形成計画	
2.5 東郷町公共施設等総合管理計画	
資料Ⅱ．現況整理	12
1．人口等	12
1.1 人口・世帯数	
1.2 男女別人口	
1.3 年齢3区分別人口	
1.4 人口集中地区（DID）の変遷	
1.5 人口の自然増減及び社会増減に関する経年変化	
2．土地利用	15
3．都市整備、開発の履歴	16
3.1 市街地整備	
3.2 開発許可	
4．道路・交通	19
4.1 都市計画道路	
4.2 人の動き	
4.3 買い物の動き	
5．下水道	24
6．都市機能増進施設	25
6.1 医療施設	
6.2 福祉施設（高齢者介護施設）	
6.3 子育て支援施設	
6.4 高齢者交流施設	
6.5 商業施設	
7．公共交通網	38
8．災害危険性	40
8.1 土砂災害の危険性	
8.2 浸水の危険性	
9．財政	42
資料Ⅲ．年齢3区分別将来人口	43
1．年少人口	43
2．生産年齢人口	46
3．老年人口	49

資料Ⅰ．関連する計画や他部局の施策に関する整理

1. 愛知県の計画等

1.1 愛知の都市づくりビジョン～都市計画の基本的方針

策定年	○2017 年 3 月
目標年	○概ね 20 年後（2037 年）
位置付け	○都市計画区域内に限らず、県土全体を対象として、概ね 20 年後を見据えた都市計画の基本的方針 ○「新しい都市計画の基本的方針」（2007 年）策定後の、以下のものと整合 ・都市再生特別措置法の改正（立地適正化計画の創設） ・津波防災地域づくりに関する法律 ・国土強靱化基本法 ・国土のグランドデザイン 2050（2015 年） ・国土形成計画（2015 年） ・あいちビジョン 2020（2014 年） ・愛知県地域強靱化計画（2015 年） ・愛知県人口ビジョン・まち・ひと・しごと創生総合戦略
都市づくりの理念	○時代の波を乗り越え、元気と暮らしやすさを育みつづける未来へ
都市づくりの基本方向	○暮らしやすさを支える<u>集約型都市構造への転換</u> ・区域区分の適切な運用による低密度な市街地拡大の防止 ・都市構造の再構築に向け、拠点・地区を明確化 ・<u>立地適正化計画制度等の活用による居住の誘導、都市機能の誘導</u> ・人口や世帯数が増加傾向にある地域における新たな市街地の計画的な確保 ・市街化調整区域における生活利便性やコミュニティの維持 ・子育て支援施設等の誘導・配置 ・効率的な都市経営の視点も踏まえた都市施設の配置 等 ○リニア新時代に向けた地域特性を最大限活かした対流の促進 ○力強い愛知を支えるさらなる産業集積の推進 ○大規模自然災害等に備えた安全安心な暮らしの確保 ○自然環境や地球温暖化に配慮した環境負荷の小さな都市づくりの推進

	 ◆都市ごとの特性を踏まえた集約型都市構造のイメージ
主な内容等	○土地利用の基本的な考え方 ・暮らしやすく環境に配慮した土地利用の推進 ・地域のポテンシャルを活かした土地利用の促進 ・安全安心な生活を支える土地利用の実現 ○都市施設の基本的な考え方 ・広域交通ネットワークの最大限の活用と質の高い交通環境の形成・充実、公共交通結節点の機能強化・充実、災害に強い交通体系の構築 等 ・都市の環境、景観、防災性の向上に資する都市公園の整備、都市公園を拠点としたネットワークの形成、対流・ふれあいの創出に資する都市公園の配置・整備 等

1.2 名古屋都市計画区域の整備、開発及び保全の方針 (名古屋都市計画区域マスタープラン)

策定年	○2011 年 9 月
目標年	○概ね 20 年後 (2031 年)
位置付け	○都市計画法第 6 条の 2 の規定に基づき、広域的な見地から、長期的な視点に立った都市の将来像を明確にするとともに、その実現に向けた大きな道筋を明らかにするもの
都市づくりの 基本理念	○高次都市機能と学術・文化・研究開発機能を擁した、世界と交流する環伊勢湾地域の中核都市づくり ◆将来都市構造
都市づくり の目標	○人口動向等を踏まえた住居系市街地の形成に向けた目標 ○都市機能の立地・誘導に向けた目標 ○広域交通体系および公共交通網構築に向けた目標 ○産業動向等を踏まえた工業系市街地の形成に向けた目標 ○環境負荷が小さく、防災性が高い都市の構築に向けた目標

2. 東郷町の計画等

2.1 第5次東郷町総合計画

策定年	○2011 年 3 月
対象期間	○2011 年度～2020 年度
位置付け	○本町の目指すべき将来の姿を明らかにするとともに、その実現に資する政策等をまとめたもの ○新たなまちづくりや行財政運営等の町政運営における最上位に位置づけられる計画
将来都市像	「人とまち みんな元気な 環境都市」
まちの基本目標	○健康で元気に暮らせるまち ○次代を担う子どもたちの生きる力を育み、交流が活発なまち ○参画と協働で自立するまち ○安全で環境にやさしいうるおいのあるまち ○産業が活性化し、快適でいつまでも住み続けたいまち
将来人口	○将来人口：45,000 人(2020 年) ○将来世帯数：17,600 世帯 (2020 年) ◆将来人口

土地利用
構想

○住宅系市街地

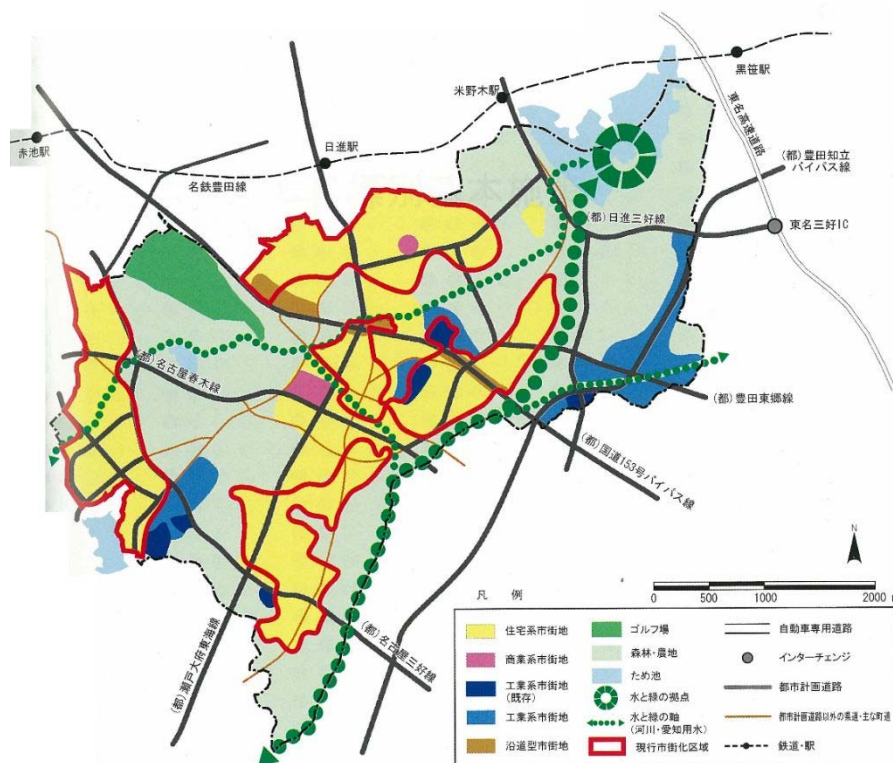
- ・都市的低・未利用地（既存の市街化区域で田・畑など有効利用されていない土地）の多く見られる地区等では宅地化誘導等により、現在の市街化区域を優先に人口定着を図ります
- ・既存の市街化区域に隣接する地区等一体的な市街地形成に資する地区を中心に、面的整備の事業熟度や規模を勘案しながら、新たな住居系市街地の計画的形成を図ります

○商業系市街地

- ・新たな住居系市街地の形成に合わせ、町の拠点となり得る地区、既に商業集積が進む幹線道路の沿道などを中心に商業系市街地の形成・機能充実を図ります

○工業系市街地

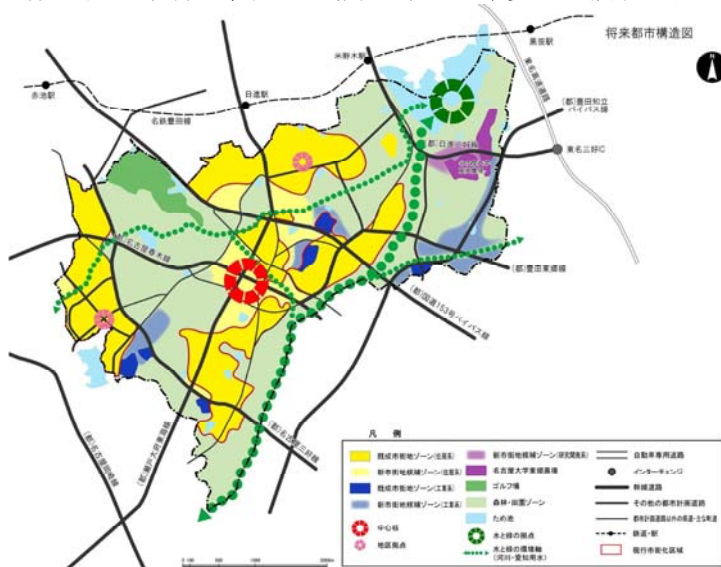
- ・東名三好インターチェンジへのアクセス利便性に優れる本町東部の幹線道路沿道や既存の工業団地周辺など立地ポテンシャルの高い地区を中心に、工場（生産）機能を主体とした新たな市街地の形成を図るとともに、これに付随する研究開発機能や物流機能等を主体とした市街地の形成を図ります



◆土地利用構想図

2.2 東郷町都市計画マスタープラン

策定年	○2010 年 12 月
目標年	○2020 年度
位置付け	○都市計画法第 18 条の 2 の市町村の都市計画に関する基本的な方針を示したもの
将来都市像	「人とまち みんな元気な 環境都市」(総合計画と同じ)
都市づくりの目標	○まちの中心核の形成 ○分散した市街地における日常的な生活サービスを提供する地区拠点の形成 ○中心核や地区拠点と市街地間の連携を図る生活交通ネットワークの形成 ○旧来の集落地に残る歴史的な資源を生かしたまちづくり ○名古屋近郊のベッドタウンとしての住宅地の居住環境の向上 ○やすらぎと潤いある環境の創出に向けた水と緑の拠点・軸の形成 ○水と緑の環境と調和し、本町の活力の源となる新たな産業拠点の形成
将来人口	○将来人口：45,000 人(2020 年) ○将来世帯数：17,600 世帯(2020 年) (いずれも総合計画と同じ)
将来都市構造	○都市機能の拡散や無秩序な市街化を抑制し、まとまりある農地や愛知池周辺の森林については、その保全を図り、河川や田園空間と一体となった水と緑の軸を形成 ○町役場、いこまい館、町民会館、総合体育館などの既存施設の集積する地区を中心として、周辺の自然豊かな里山環境との調和に配慮し、分散した市街地の求心性を高める新たな町の中心核の形成 ○既存住宅地の居住環境の向上や諸輪地区、和合地区などの古くからの市街地や集落地の樹林地の保全、歴史的な趣を残す環境の保全など、個性を生かしつつ都市の魅力の向上 ○新たな市街地については、今後の宅地需要の動向を見極め、将来の市街地規模の見通しを踏まえ、必要最小限の規模 ○幹線道路沿道の農地など都市機能の立地ポテンシャルに優れる自然地において市街地形成を図る場合は、周辺の農地等との環境上の調和に配慮



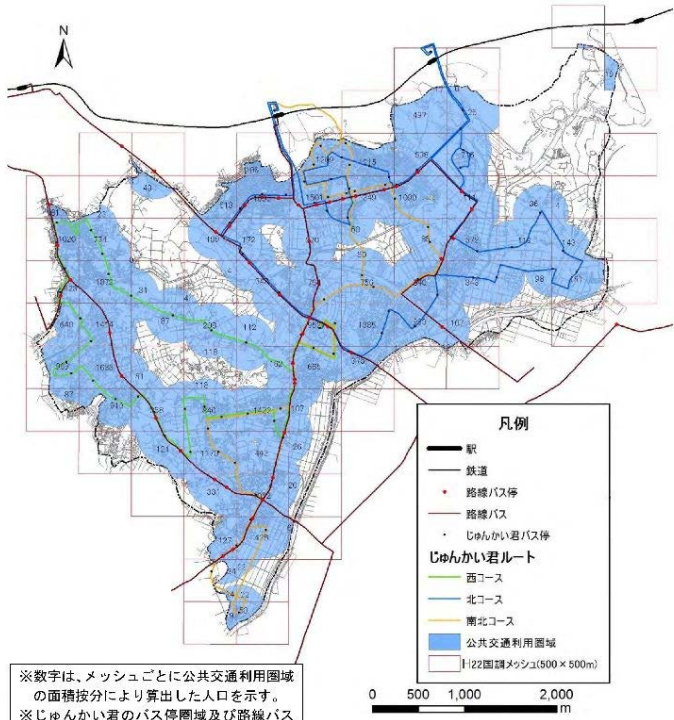
◆将来都市構造図

2.3 東郷町人口ビジョン・まち・ひと・しごと創生総合戦略

策定年	○2016 年 3 月
目標年	○2019 年度（5 年）
位置付け	○「まち・ひと・しごと創生法」第 10 条の規定に基づき、国及び愛知県の「まち・ひと・しごと創生総合戦略」を勘案し、本町の実情に即した基本的な計画 第 5 次東郷町総合計画 基本構想（10 年） 将来都市像 人とまち みんな元気な 環境都市 将来人口（2020 年）45,000 人 まちの基本目標／施策の大綱 基本計画（10 年） 目標Ⅰ 健康で元気に暮らせるまち 目標Ⅱ 次代を担う子どもたちの生きる力を育み、交流が活発なまち 目標Ⅲ 参画と協働で自立するまち 目標Ⅳ 安全で環境にやさしいおいのあるまち 目標Ⅴ 産業が活性化し、快適でいつまでも住み続けたいまち 実施計画 行政評価 人口ビジョン・総合戦略 人口動向の分析 人口を取り巻く現状のまとめ 人口の将来展望の設定（2060 年） 基本目標 - しごとをつくり、安心して働けるようにする - 新しいひとの流れをつくる - 若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる - 健康で、安全な暮らしを守る 推進体制（PDCAサイクル） ◆第 5 次東郷町総合計画と人口ビジョン・総合戦略との関連イメージ
人口推計及び将来展望	○人口の将来展望は以下のとおりであり、2030 年の 45,173 人をピークにその後は減少傾向となります。 ◆人口の推移と推計

策定視点	○策定にあたり以下の３つの視点を掲げています。 ・視点１ まちの創生 ・視点２ ひとの創生 ・視点３ しごとの創生 ○このうち「まちの創生」の中で、<u>コンパクトなまちづくり、都市機能の集約や交通ネットワークの構築、まちの活性化などが位置づけられています。</u> ・「東郷町都市計画マスタープラン」や「東郷セントラル地区低炭素まちづくり計画」のもと、環境に配慮しながら東郷中央土地区画整理事業を核とする「セントラル開発」の推進 ・この開発を通じて、本町の中心核を形成するとともに、少子高齢化社会に対応できる本町の地域特性を踏まえたコンパクトなまちづくりを進め、都市機能の集約や交通ネットワークを構築し、まちの活性化を図ります
基本目標	○国の総合戦略との関連を踏まえ、４つの基本目標を設定しています。 １ しごとをつくり、安心して 働けるようにする ・町の産業を活性化し、新たな産業の誘致を進める ・創業支援体制を構築する ・地産地消による農業の活性化を目指す ２ 新しいひとの流れをつくる ・魅力あるまちの中心核をつくる ・まちの魅力の発信と交流・定住を促進する ・ひとの流れをつくる基盤整備・機能強化を進める ３ 若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる ・妊娠・出産を支援する ・安心して子育てができる環境をつくる ・ワーク・ライフ・バランスを推進する ４ 健康で、安全な暮らしを守る ・郷土愛や誇りを持てる地域文化を育む ・地域の安全・安心を強化する ・産官学等の連携を強化する ・誰もが元気に暮らせる健康づくりを支援する ・高齢者の社会参加を推進する

2.4 東郷町地域公共交通網形成計画

策定年	○2016 年 4 月
位置付け	○「東郷町地域公共交通総合連携計画」(2011 年)を引き継ぎ、本町の次代の公共交通の基盤となるもの
公共交通の利用圏域	○鉄道駅圏域(半径 1000m)、バス停圏域(半径 300m)を設定 ○公共交通利用圏域による人口カバー率は 89.5%と算定  ※数字は、メッシュごとに公共交通利用圏域の面積按分により算出した人口を示す。 ※じゅんかい君のバス停圏域及び路線バスのバス停圏域は半径 300m と設定。 ※鉄道駅の駅勢圏域は半径 1,000m と設定。 ※利用者数 1 人/週未満のバス停(菰田及び東部児童館前)圏域を除く。 公共交通利用圏域人口(図中数字の合計): 37,444 人 東郷町人口(平成 22 年国勢調査): 41,851 人 公共交通利用圏域人口カバー率: 89.5% (平成 22 年国勢調査より算出) ◆公共交通利用圏域
交通将来像	交通の将来像 公共交通が暮らしになじみ 気軽に出かけたくなるまち  ◆交通将来像

計画の目標	○計画期間：2016 年度～2020 年度（5 年） ○基本方針、計画目標 ・「公共交通が暮らしになじみ、気軽に出かけたくなるまち」の実現を東郷町地域公共交通網形成計画の目標として掲げ、この目標の達成に向け、4 つの基本方針に基づき各種事業を展開します。 ◆4 つの基本方針
目標とする 成果指標	○目標年次：2020 年度 ○成果指標 ・指標 1 町内バス路線の利用者数 現状以上（町内バス路線 約 216 万人） [H26 路線バス 約 195 万人、じゅんかい君 約 17 万人] ・指標 2 月に 2～3 日程度以上バスを利用する人の割合 現状以上 [H26 路線バス 11%、じゅんかい君 8%] ・指標 3 公共交通利用の不満割合 現状未満 [H26 東西線 29%、H25 じゅんかい君 19%]

2.5 東郷町公共施設等総合管理計画

策定年	○2017 年 3 月
位置付け	○平成 25 年 11 月 29 日に国のインフラ老朽化対策の推進に関する関係省庁連絡会議で決定された「インフラ長寿命化基本計画 総務省」における市町村版の「インフラ長寿命化計画（行動計画）」となるもの
将来コストの試算	○公共施設・インフラ施設（下水道施設を除く）の試算結果は以下のとおり ・今後 40 年間で必要となる将来コスト：約 539.9 億円 ・1 年当たりのコスト：約 13.5 億円 ○過去 10 年間の投資的経費の 1 年当たりの平均額は約 7.3 億円であり、1 年当たりのコストと比較すると約 6.2 億円の差（過去の投資的経費の約 1.8 倍に相当） （億円） 過去 10 年間の公共施設・インフラ資産の修繕・更新に係る投資的経費平均額：約 7.3 億円/年 1 年当たりのコスト約 13.5 億円/年 40 年間整備額 539.9 億円 差額は、約 6.2 億円 （年度） ◆公共施設・インフラ施設（下水道施設を除く）の試算結果 ■ 防災無線の修繕・更新費 ■ 防火水槽の修繕・更新費 ■ 調整池の修繕・更新費 ■ 河川の修繕・更新費 ■ 公園の修繕・更新費 ■ 橋りょうの修繕・更新費 ■ 道路施設の修繕・更新費 ■ 公共施設の修繕・更新費
基本方針	○将来のまちづくりに向け、最適な公共施設等の持続的な供給を目指し、公共施設等の総合的かつ計画的な管理に関する基本方針を以下のように設定 ①公共施設等の長寿命化の推進 ・予防保全型の管理方法、メンテナンスサイクルの構築 ②公共施設等の安全・安心の確保 ・適切な日常点検、防災・減災のための設備面での対策、維持管理・更新の優先順位の整理・検討 ③施設総量の抑制と適切な維持管理の推進 ・公共施設の適正保有量を検討、必要に応じて総量抑制の検討、既存施設の用途変更・転用の可能性の検討、適正規模の検討・複合化・多機能化等の手法検討、民間事業者の活用検討、近隣市との相互利用

資料Ⅱ．現況整理

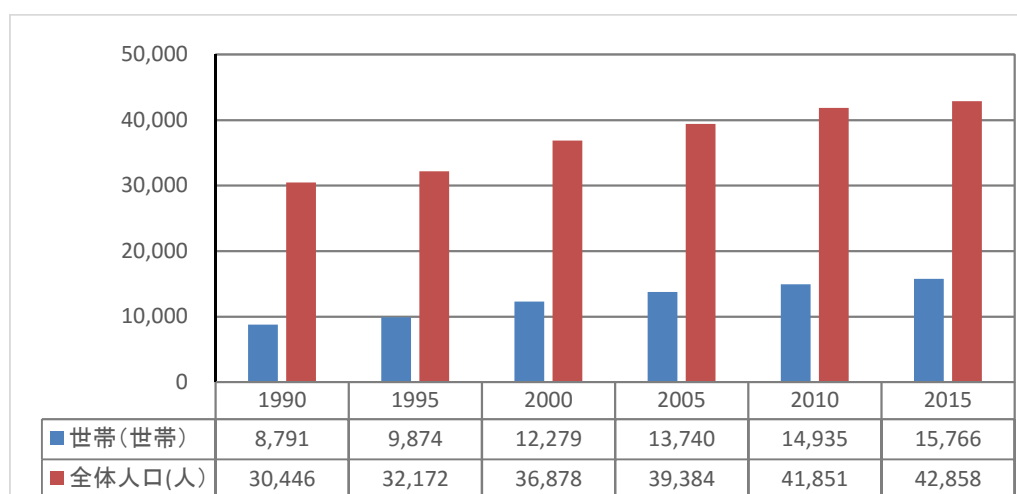
東郷町の人口、土地利用、交通体系、市街地等の経年変化について既往調査を活用して把握し、東郷町の都市の形成過程を整理しました。

1. 人口等

1.1 人口・世帯数

本町の2015年（平成27年）10月1日時点の人口は42,858人、世帯数は15,766世帯となっています。人口の推移をみますと1990年から一貫して増加傾向を示しています。世帯数も、同様に1990年から一貫して増加傾向を示しています。

1990年から2015年までの増減比は、人口が1.41、世帯数が1.79であり、また、直近の5年（2010年から2015年まで）の増減比は、人口が1.02、世帯数が1.06となっています。

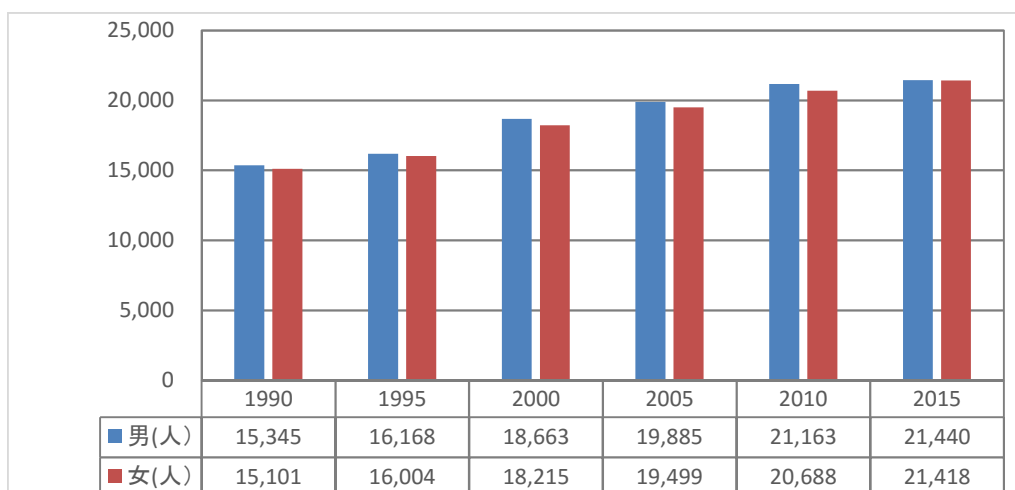


出典：国勢調査

図 人口世帯の推移

1.2 男女別人口

男女別人口は、各年とも男性が多いですが、2015 年ではほぼ同数となっています。推移をみますと男女とも増加傾向を示しています。



出典：国勢調査

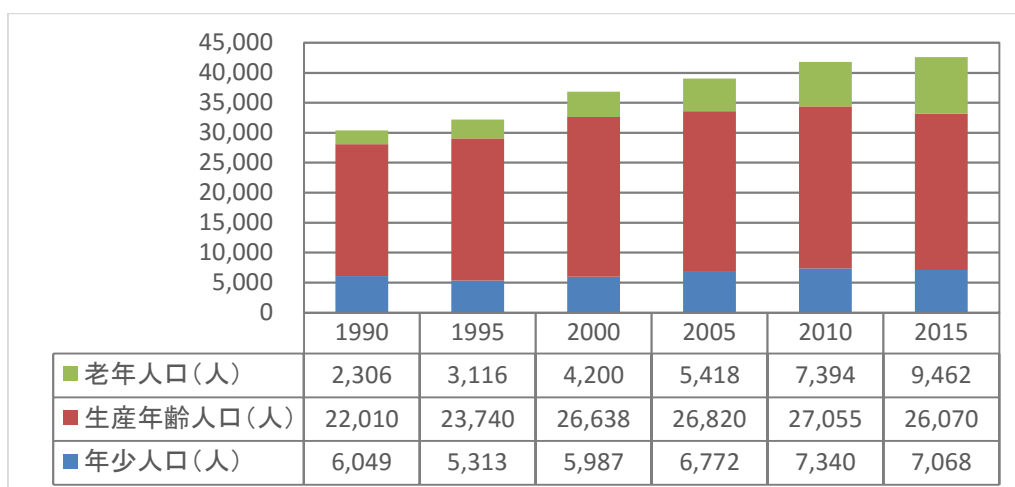
図 男女別人口の推移

1.3 年齢3区分別人口

年齢3区分別人口の推移をみますと、老年人口（65 歳以上）は 1990 年以降、増加傾向となっています。

生産年齢人口（15 歳以上 65 歳未満）は 1990 年から 2010 年まで増加していましたが、2010 年から 2015 年までで減少傾向を示しています。

年少人口（15 歳未満）は 1995 年から 2010 年まで増加していましたが、2010 年から 2015 年までで減少傾向を示しています。

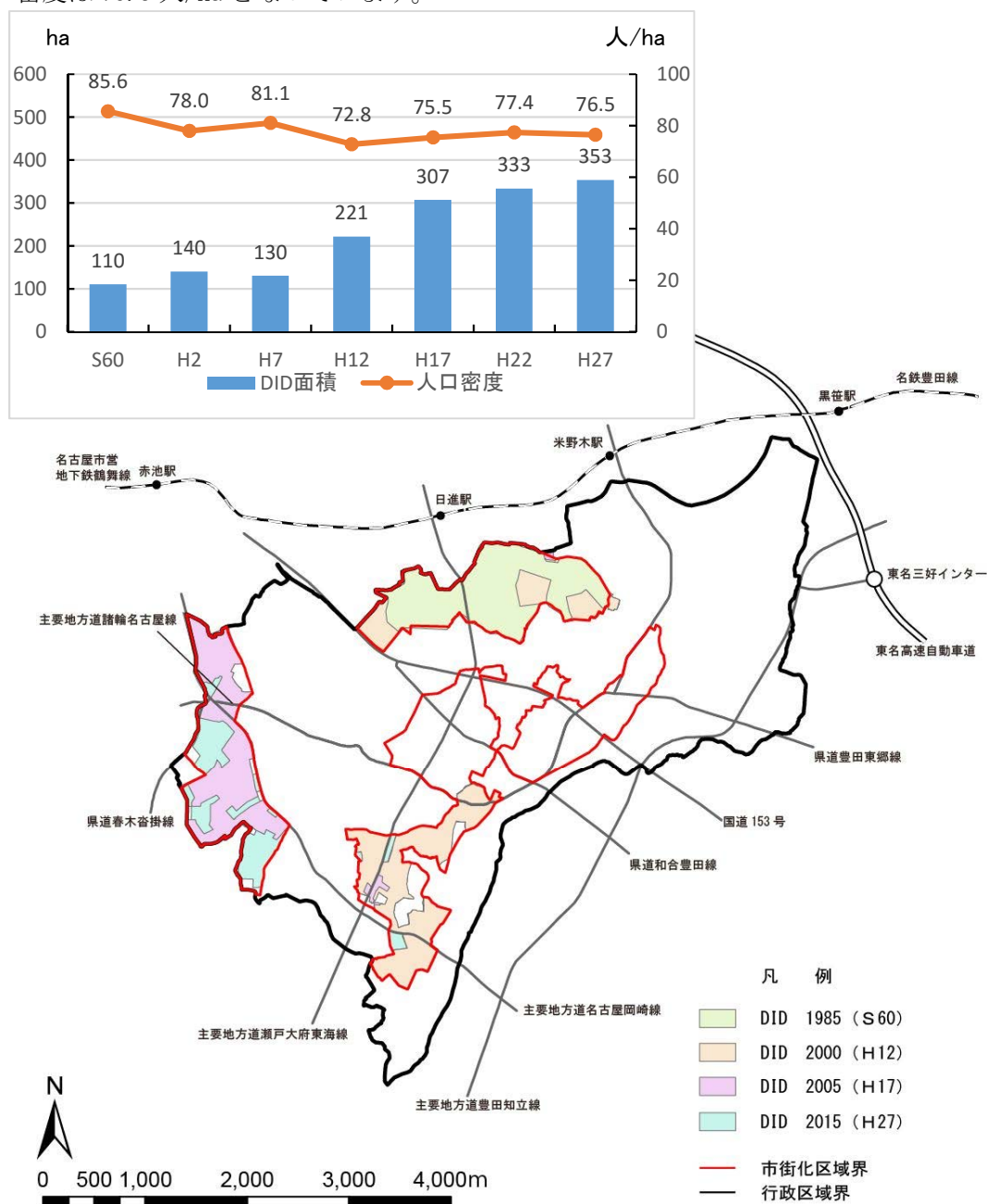


出典：国勢調査

図 年齢3区分別人口の推移

1.4 人口集中地区（DID）の変遷

人口集中地区（DID）※は、昭和 60 年に市街化北部に約 110ha が形成されて以来、平成 12 年には市街化南部に、平成 17 年には市街化西部に広がり、平成 27 年で約 353ha、人口密度は 76.5 人/ha となっています。



出典：都市計画基礎調査、国勢調査

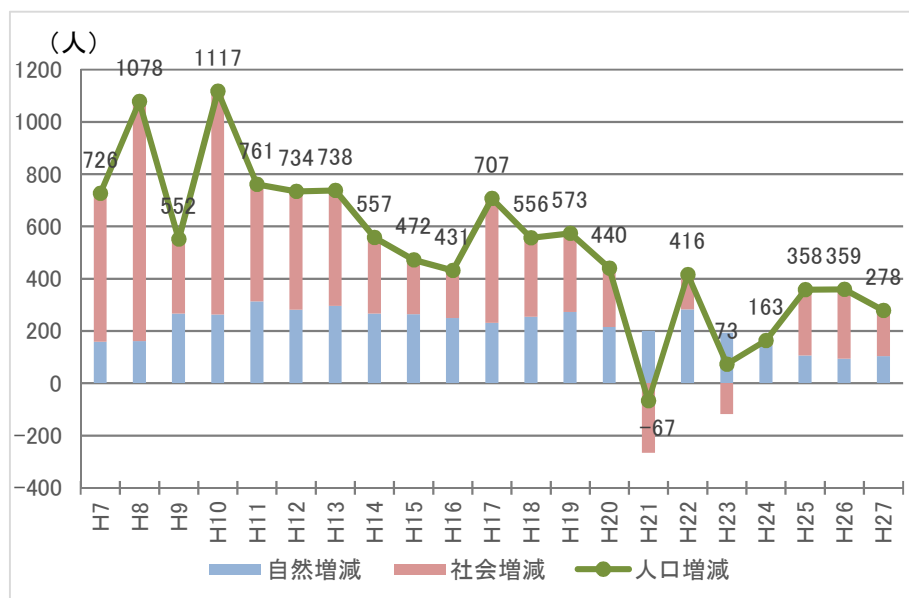
図 人口集中地区（DID）変遷図

※ 人口集中地区：国勢調査に基づいて一定の基準により指定されるもので、人口密度が特に高い地区のこと。

1.5 人口の自然増減及び社会増減に関する経年変化

自然増減は一貫して自然増で推移しています。一方で、社会増減は、平成 21 年と平成 23 年で社会減となっています。

自然増減と社会増減を含めた人口増減は、平成 21 年を除くと人口増で推移していますが、増加数は減少傾向を示しています。



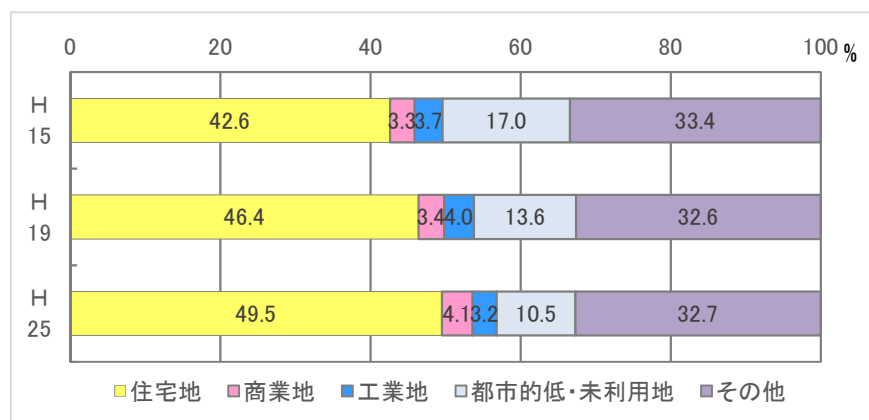
出典：東郷の統計

図 自然増減・社会増減の推移

2. 土地利用

平成 25 年度の市街化区域内の土地利用状況をみると、住宅地が約 50% で大きな割合を占めており、商業地（約 4%）、工業地（約 3%）の割合は低いです。

平成 15 年度から平成 25 年度の土地利用の変化をみると、住宅地、商業地の割合が増加しており、都市的低・未利用地からの転用がうかがわれます。



出典：都市計画基礎調査

図 市街化区域内の土地利用の推移

3. 都市整備、開発の履歴

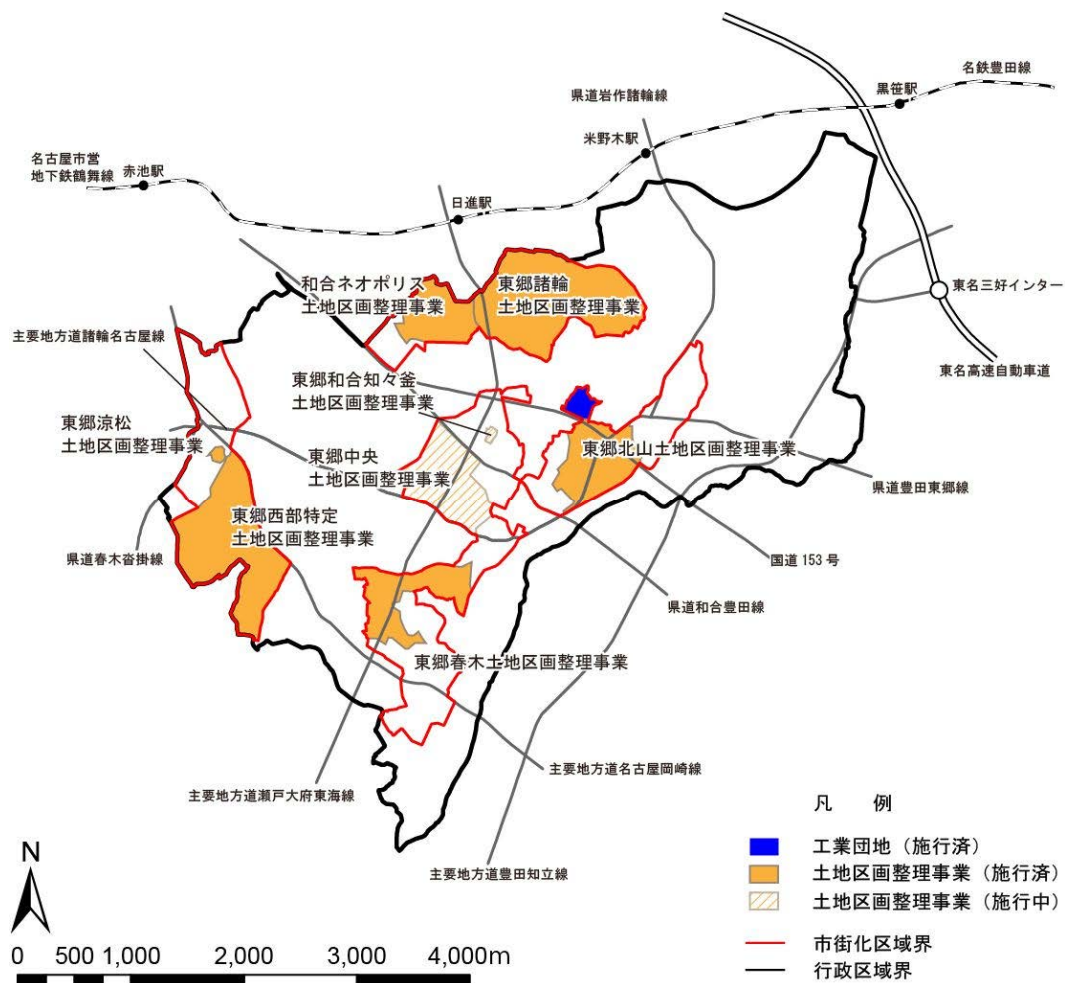
3.1 市街地整備

土地区画整理事業が6地区（約281.8ha）で整備済となっており、市街化区域の約5割を占めています。この他には、工業団地造成事業が1地区（約5.3ha）整備されています。

整備中は、東郷中央土地区画整理事業（平成26年度～平成35年度）、東郷和合知々釜土地区画整理事業（平成29年度～平成33年度）の2か所です。

事業手法	整備済			整備中			面積計 (ha)
	事業主体	箇所数	面積 (ha)	事業主体	箇所数	面積 (ha)	
土地区画整理事業		6	281.8		2	44.4	327.2
	事業主体別	民間	29.9	民間			
		組合	251.9	組合	2	44.4	
工業団地造成事業		1	5.3				5.3
計		7	287.1		2	44.4	332.5

(2017.10.30時点)



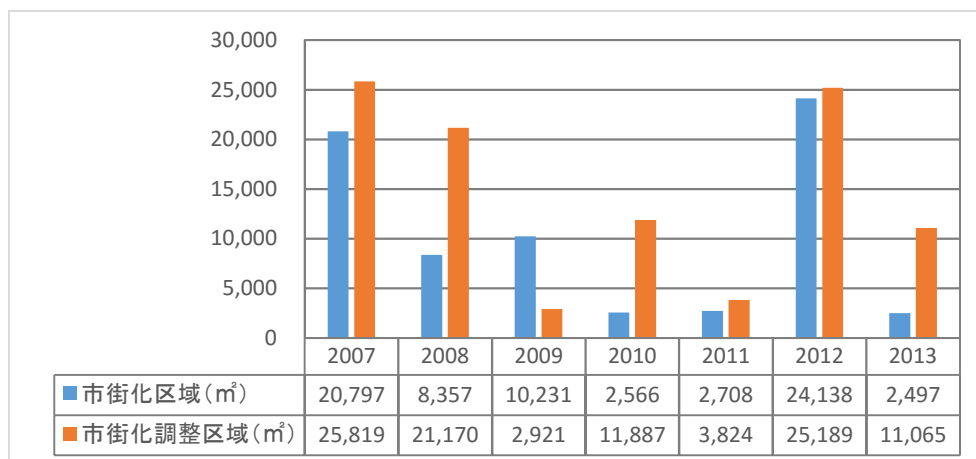
出典：東郷町ホームページ、東郷町都市計画図

図 面整備状況図

3.2 開発許可

2014 年度都市計画基礎調査によると、本町の開発許可の面積は、近年では減少傾向となっています。

市街化区域では、2012 年度に最も大きな面積となっていますが、これは主に市街化西部の住宅開発によるものです。また、市街化調整区域では、2007 年度、2012 年度が大きな面積となっていますが、これは主に 1ha 以上の開発である諸輪住宅周辺の住宅開発（2007 年度）やその他開発（2012 年度）によるものです。



出典：都市計画基礎調査

図 開発許可の状況

表 開発許可の状況

年度	住宅				商業			
	市街化区域		市街化調整区域		市街化区域		市街化調整区域	
	件数 (件)	面積 (㎡)	件数 (件)	面積 (㎡)	件数 (件)	面積 (㎡)	件数 (件)	面積 (㎡)
2007	9	18,531	8	18,501	1	2,266	1	499
2008	6	8,357	7	2,589				
2009	5	10,231	3	744			1	499
2010	3	2,566	5	1,078				
2011	3	2,708	7	3,325			1	499
2012	10	22,838	8	13,533				
2013	2	2,497	4	1,406				

年度	工業				その他			
	市街化区域		市街化調整区域		市街化区域		市街化調整区域	
	件数 (件)	面積 (㎡)	件数 (件)	面積 (㎡)	件数 (件)	面積 (㎡)	件数 (件)	面積 (㎡)
2007			1	6,819				
2008			2	4,380			2	14,201
2009							2	1,678
2010			2	10,809				
2011								
2012					1	1,300	2	11,656
2013			1	1,661			1	7,998

出典：都市計画基礎調査

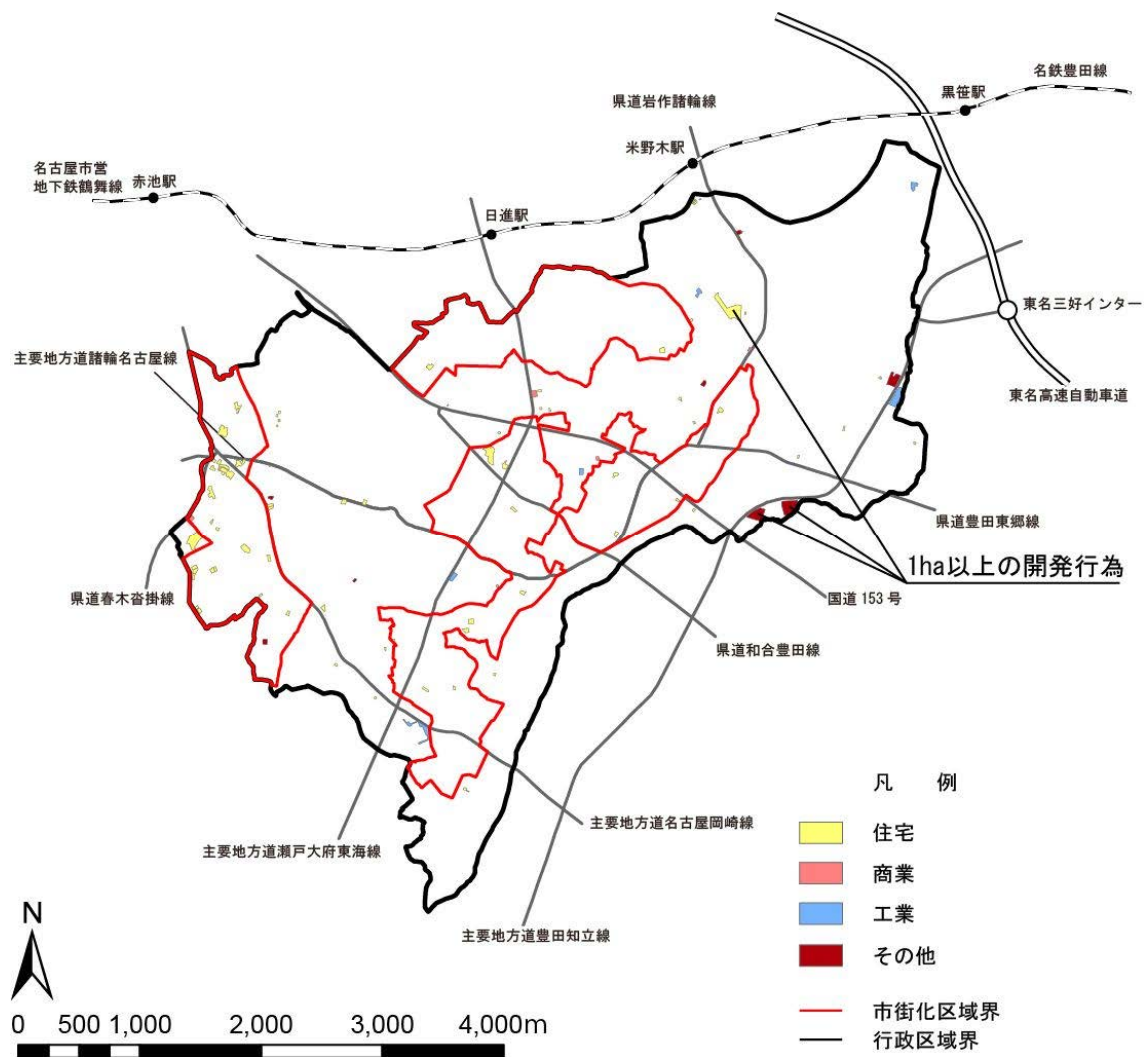


図 開発許可状況図

4. 道路・交通

4.1 都市計画道路

都市計画道路の整備率は、行政区域全体で 60.9%、市街化区域内の整備率は 80.4%となっています。

表 都市計画道路

名称	車線数 (m)	代表幅員 (m)	行政区域内			市街化区域内		
			延長 (km)	整備済み (km)	整備率 (%)	延長 (km)	整備済み (km)	整備率 (%)
国道153号バイパス線	8	41	3.32	3.32	100.0	0.86	0.86	100.0
瀬戸大府東海線	4	22	3.96	3.96	100.0	2.35	2.35	100.0
名古屋三好線	2	16	4.32	2.78	64.4	2.12	1.08	50.9
名古屋春木線	2	16	3.50	0.00	0.0	1.18	0	0.0
豊田東郷線	2	16	3.09	1.41	45.6	1.33	0.92	69.2
御岳諸輪線	2	16	1.00	0.23	23.0	0.23	0.23	100.0
愛知池線	4	20	2.02	2.02	100.0	1.36	1.36	100.0
兵庫三ツ池線	2	16	0.77	0.77	100.0	0.77	0.77	100.0
清水岩ヶ根線	2	12	0.77	0.77	100.0	0.77	0.77	100.0
藤坂清水線	2	12	1.25	1.25	100.0	1.25	1.25	100.0
上鏡田兵庫線	2	12	1.20	1.20	100.0	1.20	1.20	100.0
日進三好線	4	30	2.30	0.00	0.0			
豊田知立バイパス線	4	30	2.20	1.04	47.3			
東郷三好線	2	20	1.70	0.36	21.2			
合計			31.40	19.11	60.9	13.42	10.79	80.4

出典：都市計画課保有データ

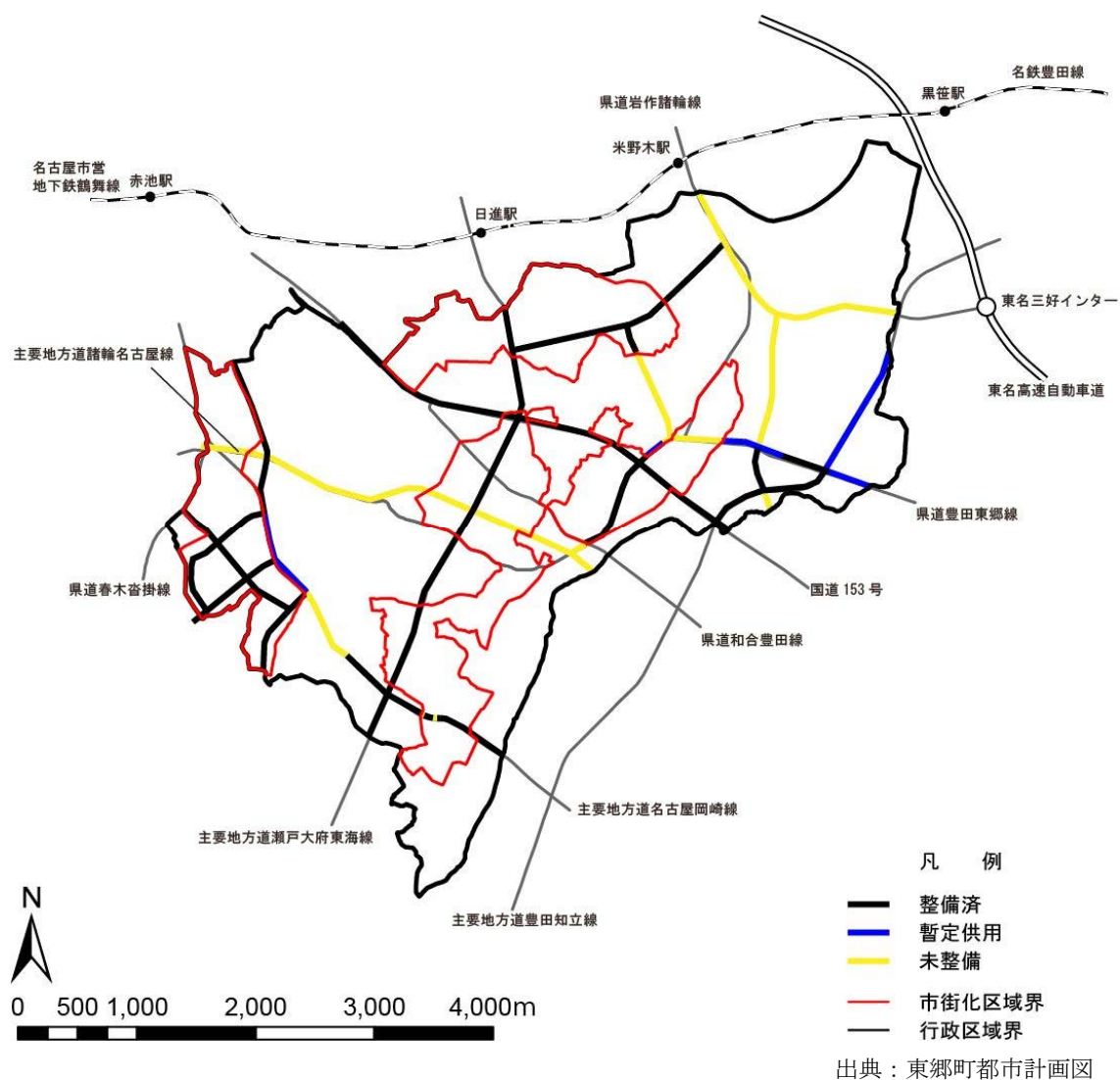
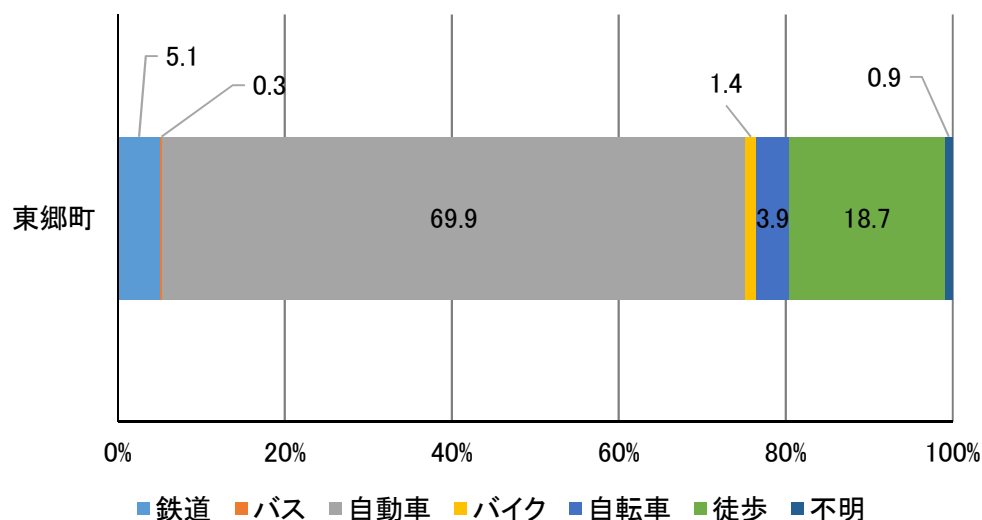


図 都市計画道路整備状況図

4.2 人の動き

代表交通手段別※の機関分担率※（発生集中量ベース）は、第5回中京圏パーソントリップ調査によると、自動車が69.9%と最も高く、次いで徒歩が18.7%となっています。

鉄道が5.1%、バスが0.3%であり、公共交通としては5.4%です。



出典：第5回中京圏パーソントリップ調査

図 代表交通手段別機関分担率

表 公共交通の機関分担率

	鉄道	バス	公共交通
東郷町	5.1 %	0.3 %	5.4 %

出典：第5回中京圏パーソントリップ調査

※ 代表交通手段別：1つのトリップ（目的を達成するための移動）でいくつかの交通手段を乗り換えた場合、その中の主な交通手段。例）自宅から駅まで自転車で移動し、駅から鉄道で勤務先へ行く場合、主な移動が鉄道であれば代表交通手段は「鉄道」になる。

※ 機関分担率：それぞれの機関（交通手段）がどれくらい利用されているかを示す割合。

4.3 買い物の動き

日常的な買い物は、町内が 2,488 トリップエンド※、町外が 3,090 トリップエンドと町外で買い物する方が多い状況です。町外で日常的な買い物をする方は、みよし市が 1,391 トリップエンドで最も多く、次いで、緑区が 611 トリップエンド、日進市が 490 トリップエンドとなっています。みよし市、日進市へは主に自動車の利用ですが、緑区は自動車の他に自転車の利用も多い状況です。

一方で、町外から町内に買い物に来る方は、1,620 トリップエンドであり、みよし市、日進市、緑区から自動車で来る方が多い状況です。

表 日常的な買い物

	鉄道	バス	自動車	バイク	自転車	徒歩	不明	全手段
町内	0	0	2,009	0	0	479	0	2,488
町内-町外	0	0	2,868	27	145	50	0	3,090
町外-町内	0	0	1,528	0	0	92	0	1,620

＜町内-町外（町外へ買い物に行く方）の代表交通手段と目的地＞

	熱田区	緑区	春日井市	大府市	長久手市	日進市	みよし市	豊田市	豊明市	刈谷市	その他	合計
自動車	113	473	60	76	34	437	1,360	103	49	79	84	2,868
バイク	0	0	0	0	0	27	0	0	0	0	0	27
自転車	0	114	0	0	0	0	31	0	0	0	0	145
徒歩	0	24	0	0	0	26	0	0	0	0	0	50
全手段	113	611	60	76	34	490	1,391	103	49	79	84	3,090

＜町外-町内（町内に買い物に来る方）の代表交通手段と出発地＞

	緑区	大府市	長久手市	日進市	みよし市	豊田市	豊明市	刈谷市	その他	合計
自動車	190	54	24	372	533	202	77	40	36	1,528
徒歩	31	0	0	21	0	0	40	0	0	92
全手段	221	54	24	393	533	202	117	40	36	1,620

出典：第 5 回中京圏パーソントリップ調査

※ トリップエンド：1つのトリップにおける発生集中交通量（出発・到着する人を合わせた数値）の単位。

また、日常的でない買い物は、町内が 58 トリップエンド、町外が 978 トリップエンドと町外で買い物する方が多い状況です。町外で日常的でない買い物をする方は、みよし市が 369 トリップエンドで最も多く、次いで、緑区が 196 トリップエンドとなっています。交通手段は主に自動車の利用ですが、緑区は自動車の他に自転車、徒歩での移動がみられます。

一方で、町外から町内に買い物に来る方は、326 トリップエンドであり、日進市が 160 トリップエンドと最も多い状況です。

表 日常的でない買い物

	鉄道	バス	自動車	バイク	自転車	徒歩	不明	全手段
町内	0	0	32	0	0	26	0	58
町内-町外	96	0	794	0	57	31	0	978
町外-町内	65	0	234	27	0	0	0	326

<町内-町外（町外へ買い物に行く方）の代表交通手段と目的地>

	千種区	中区	緑区	天白区	日進市	みよし市	豊田市	安城市	合計
鉄道	0	96	0	0	0	0	0	0	96
自動車	108	0	108	63	75	369	30	41	794
自転車	0	0	57	0	0	0	0	0	57
徒歩	0	0	31	0	0	0	0	0	31
全手段	108	96	196	63	75	369	30	41	978

<町外-町内（町内に買い物に来る方）の代表交通手段と出発地>

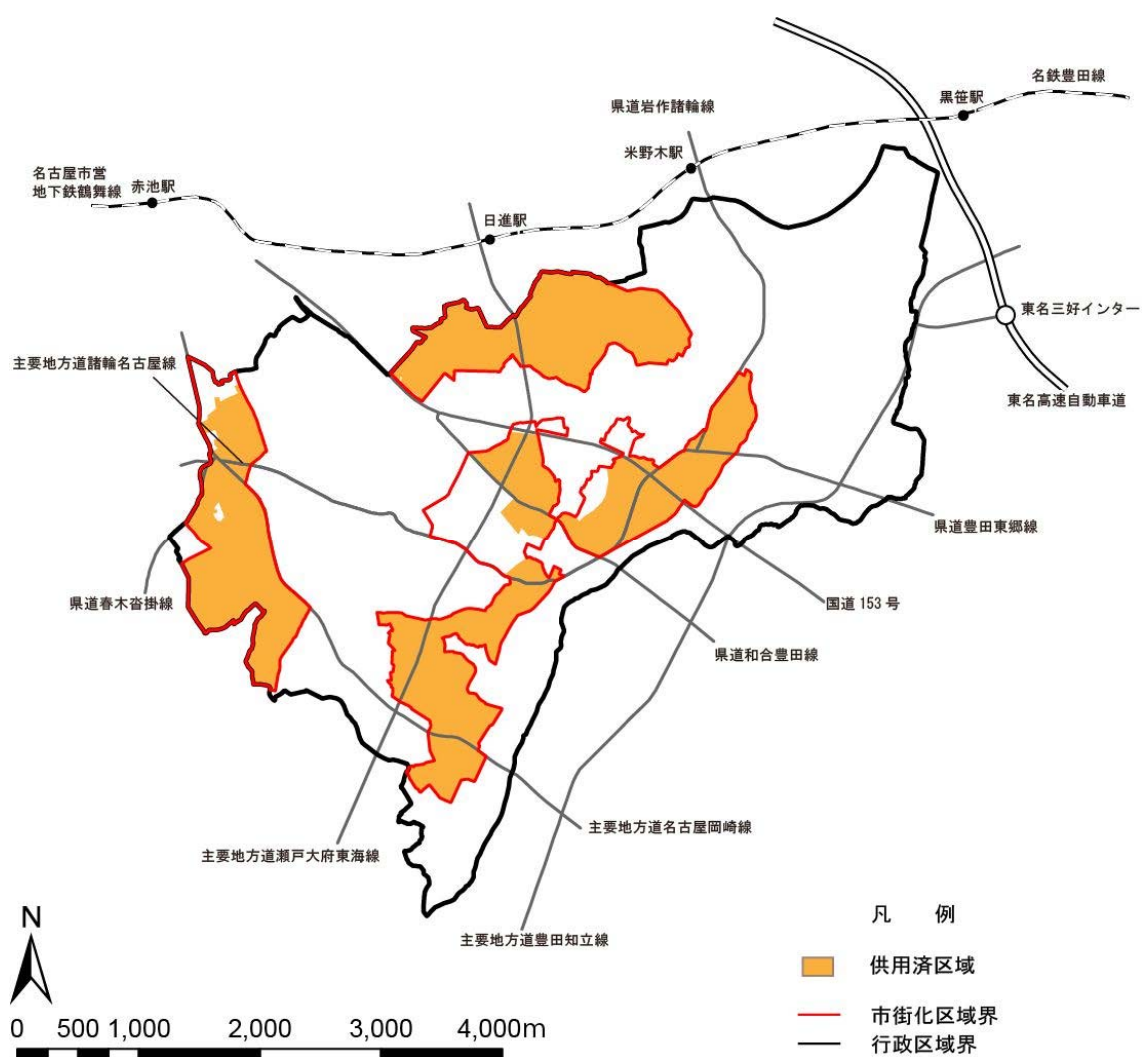
	天白区	日進市	みよし市	豊田市	合計
鉄道	65	0	0	0	65
自動車	0	133	86	15	234
バイク	0	27	0	0	27
全手段	65	160	86	15	326

出典：第 5 回中京圏パーソントリップ調査

5. 下水道

下水道は境川流域下水道として、562ha が都市計画決定されています。

平成元年に事業認可を受け、平成 9 年に供用を開始して以来、平成 26 年 10 月現在、490.9ha で供用開始されており、普及率（下水道が使える区域の人口/東郷町の人口）は 78.9%となっています。



出典：東郷町ホームページ

図 下水道整備状況図

6. 都市機能増進施設

6.1 医療施設

医療施設については、内科又は外科のある病院、診療所を対象とし、立地状況の調査を行いました。

町内の医療施設の立地は、病院が2か所、診療所が13か所です。病院、診療所は町内各所に立地しており、おおむね市街化区域内及びその縁辺に分布しています。

隣接市の医療施設のうち、本町からおおむね1kmの範囲に立地している病院は3か所、診療所は16か所立地しています。

表 医療施設（内科又は外科のある病院、診療所）

分類	図面対象番号	施設名	分類	図面対象番号	施設名
病院	1	(医) 和合会和合病院	診療所	9	東郷町国民健康保険東郷診療所
	2	あいち肝胆膵ホスピタル		10	本多医院
診療所	3	馬淵クリニック		11	西山クリニック
	4	やまクリニック		12	(医) バク諸輪診療所
	5	わごうヶ丘クリニック		13	松浦医院
	6	白鳥藤田クリニック		14	たなか内科
	7	(医) 名翔会和合セントラルクリニック		15	祐福寺内科
	8	まつもとクリニック			

(2018. 4. 30 時点)

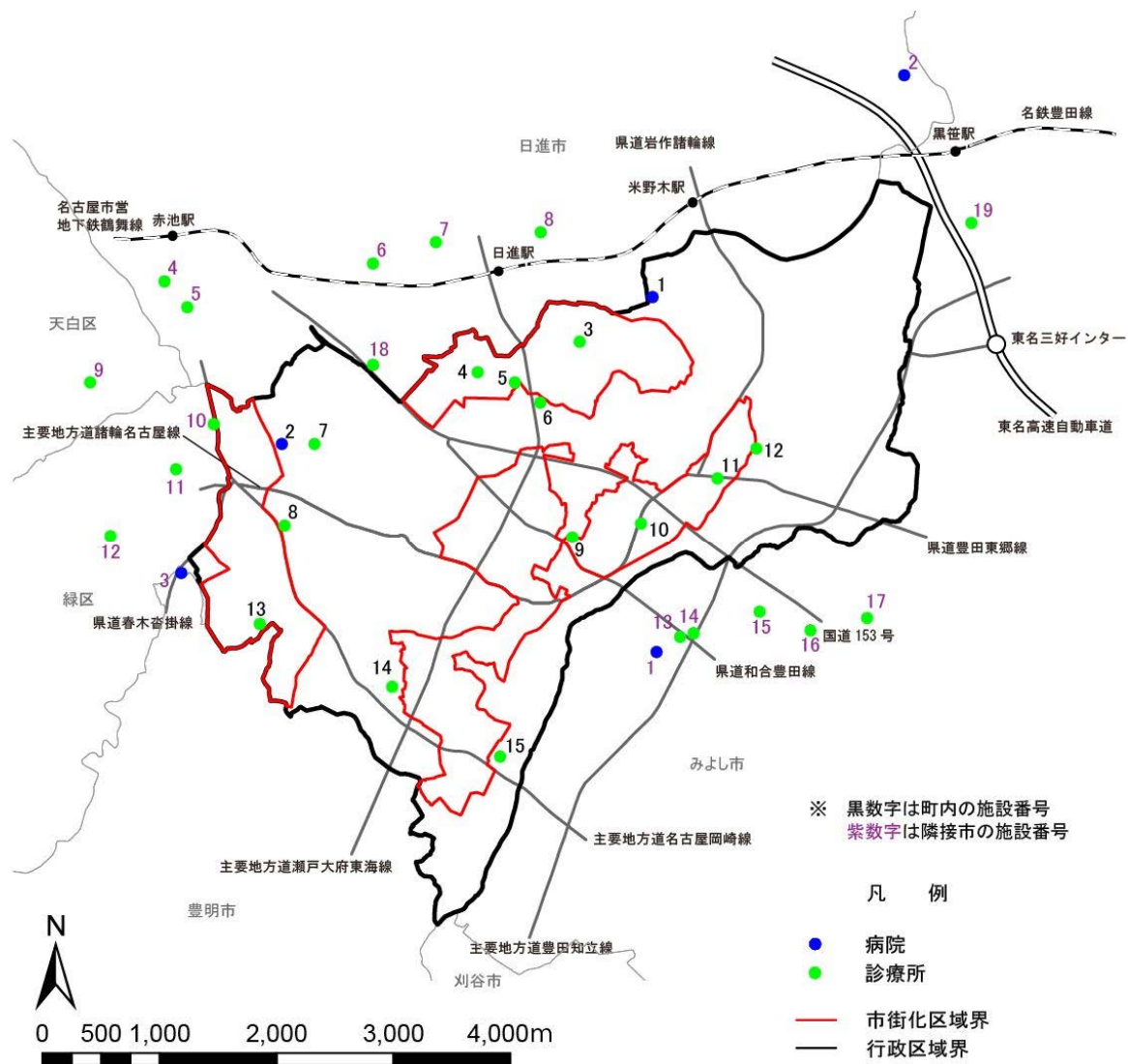
出典：東郷町ホームページ、iタウンページ、医師会ホームページ

<隣接市>

分類	図面対象番号	施設名	分類	図面対象番号	施設名
病院	1	(医) 寿光会寿光会中央病院	診療所	11	宮島クリニック
	2	(医) 愛泉会愛知国際病院		12	くまのまえファミリークリニック
	3	(医) 清水会相生山病院		13	堀田整形外科クリニック
診療所	4	みやがわクリニック		14	みよしメンタルクリニック
	5	きまたクリニック		15	たきざわ胃腸科外科
	6	金山クリニック		16	いしい外科三好クリニック
	7	アガベクリニック		17	(医) 白宇会天王内科
	8	いせき内科クリニック		18	はる内科クリニック
	9	おおみ内科		19	鈴木内科クリニック
	10	ひがみ内科			

(2018. 4. 30 時点)

出典：iタウンページ、医師会ホームページ



(2018.4.30 時点)

出典：東郷町ホームページ、iタウンページ、医師会ホームページ

図 医療施設分布図

6.2 福祉施設（高齢者介護施設）

福祉施設については、介護系の通所系施設、訪問系施設、および小規模多機能施設を対象とし、立地状況の調査を行いました。

町内の福祉施設の立地は、通所施設が 18 か所、訪問系施設が 15 か所です。通所施設、訪問系施設は町内各所に立地しており、おおむね市街化区域内及びその縁辺に分布しています。

隣接市の福祉施設のうち、本町からおおむね 1km の範囲に立地している通所施設は 13 か所、訪問系施設は 17 か所、小規模多機能施設は 1 か所立地しています。

表 福祉施設

分類	図面対象番号	施設名	分類	図面対象番号	施設名
通所系施設	1	エンジョイハウス にこにこ	訪問系施設	19	マリアンヌヘルパーステーション
	2	やまクリニック デイケア いぶき		20	訪問介護事業所 あしすと
	3	いきがい支援デイサービスりん		21	虹色訪問看護ステーション
	4	デイサービスはなのき 東郷		22	愛らんどヘルパーステーション
	5	デイサービスセンター おさんぽ		23	J A あいち尾東訪問介護センター
	6	デイサービスセンター あしすと		24	東郷町社会福祉協議会指定訪問介護事業所
	7	中部介護アウト・オン・ア・リム		25	東郷町国民健康保険東郷診療所訪問看護ステーション
	8	老人保健施設 和合の里		26	ハートケア東郷訪問看護事業所
	9	デイサービスセンター エイジトピア諸輪		27	ハートケア東郷訪問介護事業所
	10	デイサービスなごみの里		28	株式会社 ADEA
	11	ハートケア東郷デイサービスセンター		29	もみの木訪問介護事業所
	12	季楽デイサービス春夏秋冬東郷店		30	訪問看護ステーションはなとも
	13	(福) 東郷町社会福祉協議会指定通所介護事業所		31	訪問看護事業所メドック東郷
	14	デイサービスセンター イースト・ヴィレッジ		32	訪問介護事業所メドック東郷
	15	おおきなくすの木デイサービスセンター		33	訪問看護・リハビリステーション太陽
	16	医療法人生寿会 東郷春木デイケアセンター			
	17	愛厚ホーム東郷苑デイサービスセンター			
	18	通所介護事業所メドック東郷			

(2018. 4. 30 時点)

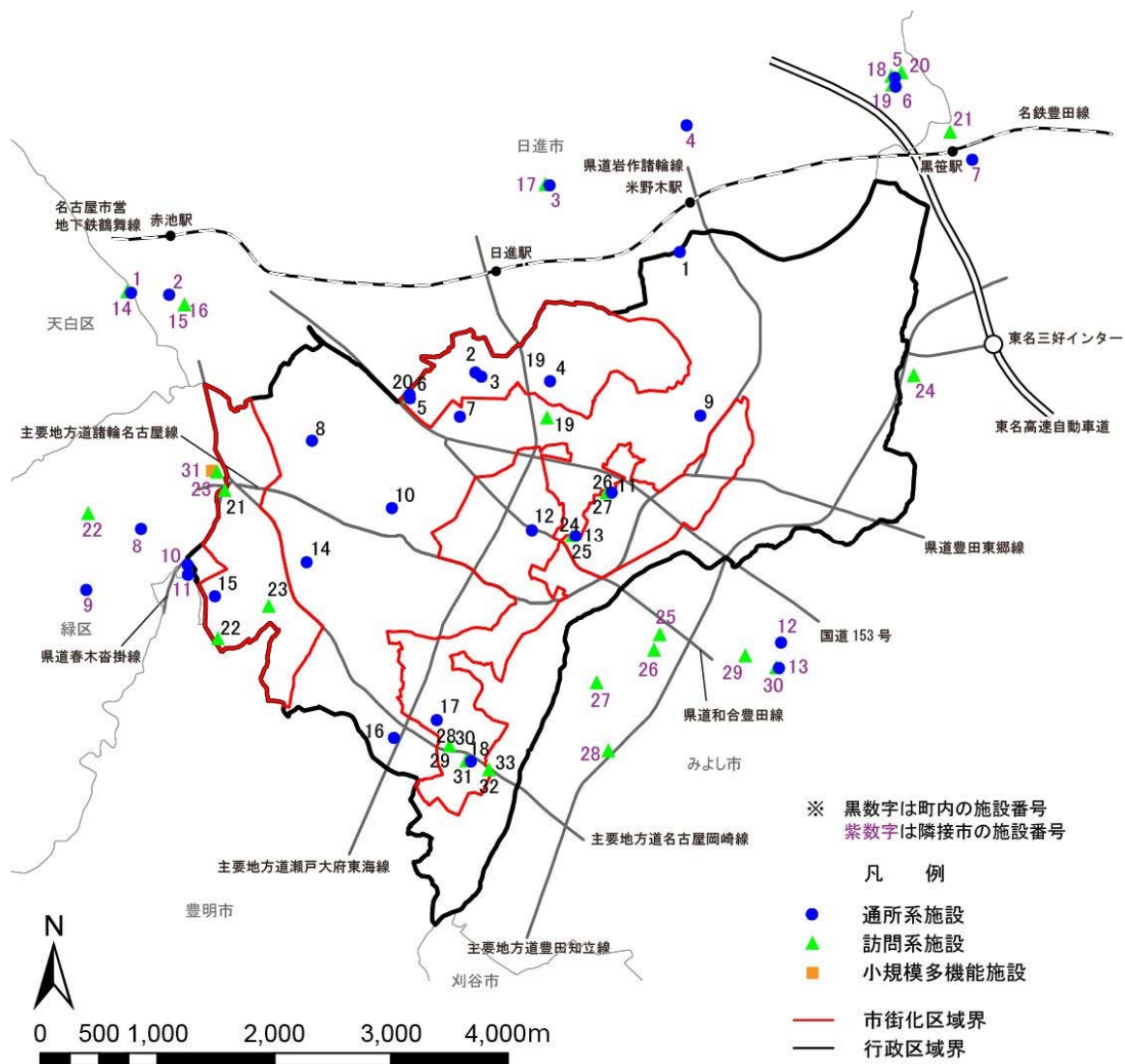
出典：東郷町ホームページ、厚生労働省介護サービス情報公表システム

＜隣接市＞

分類	図面対象番号	施設名	分類	図面対象番号	施設名
通所系施設	1	医療法人 並木会 介護老人保健施設メディコ平針	訪問系施設	17	訪問介護事業所 カルミア日進
	2	デイサービス永		18	医療法人財団愛泉会 老人保健施設愛泉館
	3	デイサービスセンター 咲花		19	医療法人 財団愛泉会 訪問看護ステーションえまい
	4	デイサービスカナン		20	ヘルパーステーションカナン
	5	医療法人財団愛泉会 老人保健施設愛泉館		21	優輪ケアステーション ゆたか
	6	デイサービスセンター さんあい		22	有限会社 もみじ
	7	笑みりハビリデイサービス		23	訪問介護事業所 ほがらか
	8	ツクイ名古屋緑		24	あおぞらケアサポート
	9	デイサービスセンターみなか徳重		25	ケアネットリゾン三好
	10	医療法人清水会 まこと老人保健施設		26	寿光会中央病院
	11	ひかり老人保健施設		27	ヘルパーステーションここみ
	12	デイサービス 相愛		28	ヘルパーステーションあずさ
	13	みよし市社会福祉協議会みよしデイサービス「陣取の里」		29	訪問看護ステーション あゆみ
訪問系施設	14	医療法人並木会 介護老人保健施設メディコ平針	小規模多機能施設	30	みよし市社会福祉協議会みよし訪問介護「ふれあいサービス」
	15	きまたクリニック		31	ライフヘルパー白土
	16	赤池ケアセンター			

(2018. 4. 30 時点)

出典：厚生労働省介護サービス情報公表システム



(2018. 4. 30 時点)

出典：東郷町ホームページ、厚生労働省介護サービス情報公表システム

図 福祉施設分布図

6.3 子育て支援施設

子育て支援施設については、保育園、幼稚園、子育て支援センターを対象とし、立地状況の調査を行いました。

子育て支援施設の立地は、保育園が 10 か所、幼稚園が 1 か所、子育て支援センターが 3 か所です。保育園は町内各所に立地しており、おおむね市街化区域内及びその縁辺に分布しています。幼稚園は市街化中部に、子育て支援センターは市街化中部、市街化西部、市街化調整区域に立地しています。

表 子育て支援施設

分類	図面対象番号	施設名
保育園	1	和合保育園
	2	中部保育園
	3	南部保育園
	4	音貝保育園
	5	たかね保育園
	6	東郷せいぶ保育園
	7	若葉保育園
	8	留愛東郷保育園
	9	東郷あやめ保育園
	10	しらとり保育園
幼稚園	11	東郷旭丘幼稚園
子育て支援センター	12	子育て支援拠点施設（つどいの広場）
	13	子育て支援拠点施設（西部子育て支援センター）
	14	子育て支援拠点施設（あやめ子育て支援センター）

（2018. 4. 30 時点）

出典：東郷町ホームページ

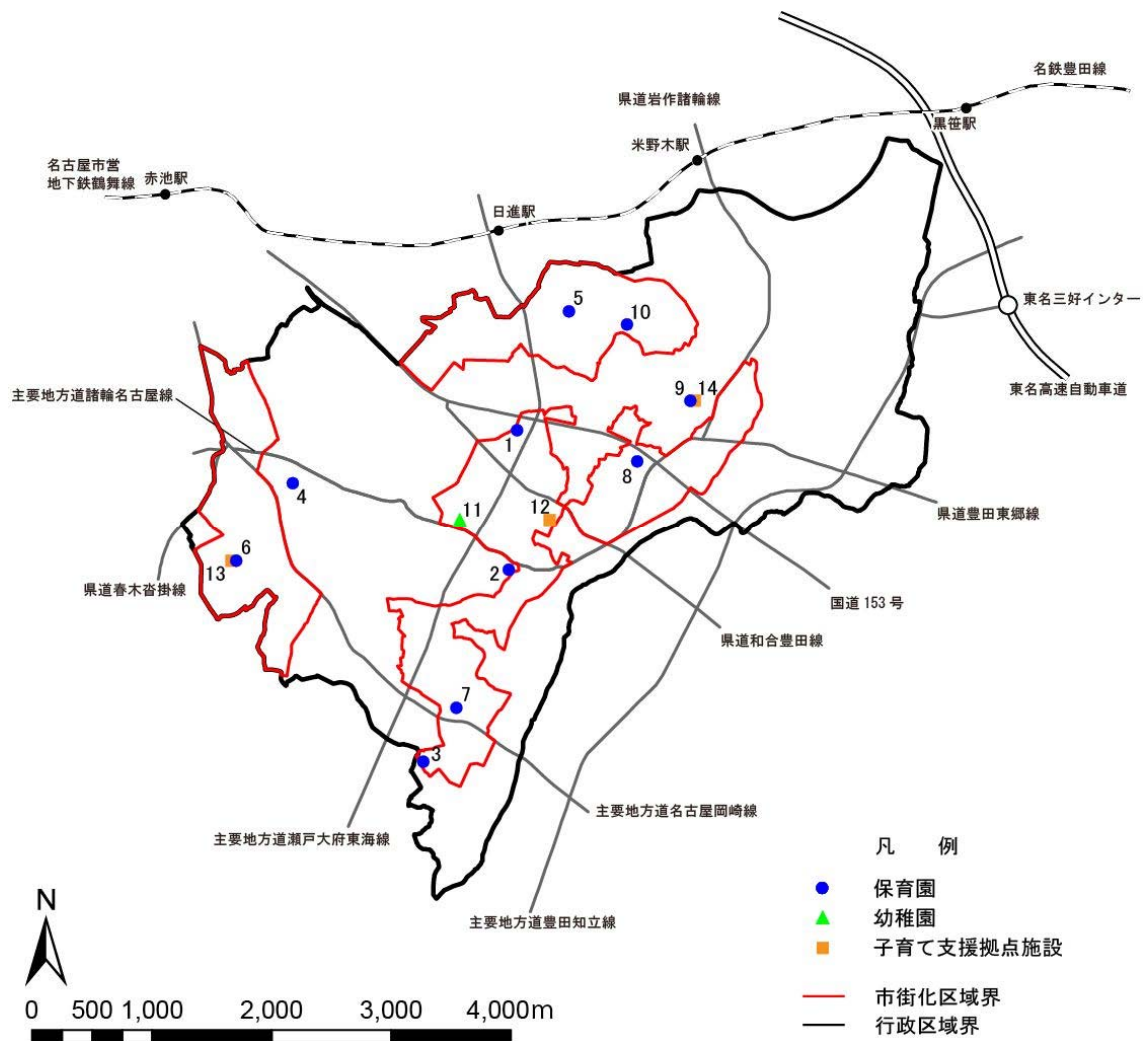


図 子育て支援施設分布図

6.4 高齢者交流施設

高齢者交流施設については、高齢者の憩いの場等となるものとして、公民館、集会所、コミュニティセンターを対象とし、立地状況の調査を行いました。

高齢者交流施設の立地は、公民館が 4 か所、集会所が 2 か所、コミュニティセンターが 10 か所、その他が 2 か所です。高齢者交流施設は町内各所に立地しており、おおむね市街化区域内及びその縁辺に分布しています。

表 高齢者交流施設

分類	図面対象番号	施設名
公民館	1	諸輪公民館
	2	和合公民館
	3	傍示本公民館
	4	祐福寺公民館
集会所	5	諸輪住宅集会所
	6	押草団地（賃貸）集会所
コミュニティセンター	7	白鳥コミュニティセンター
	8	御岳コミュニティセンター
	9	和合ヶ丘コミュニティセンター
	10	西白土ふれあいセンター
	11	白土コミュニティセンター
	12	部田山コミュニティセンター
	13	清水コミュニティセンター
	14	北山台コミュニティセンター
	15	春木台コミュニティセンター
	16	部田コミュニティセンター
その他	17	シニアハウス
	18	西部老人憩の家

（2018. 4. 30 時点）

出典：東郷町ホームページ

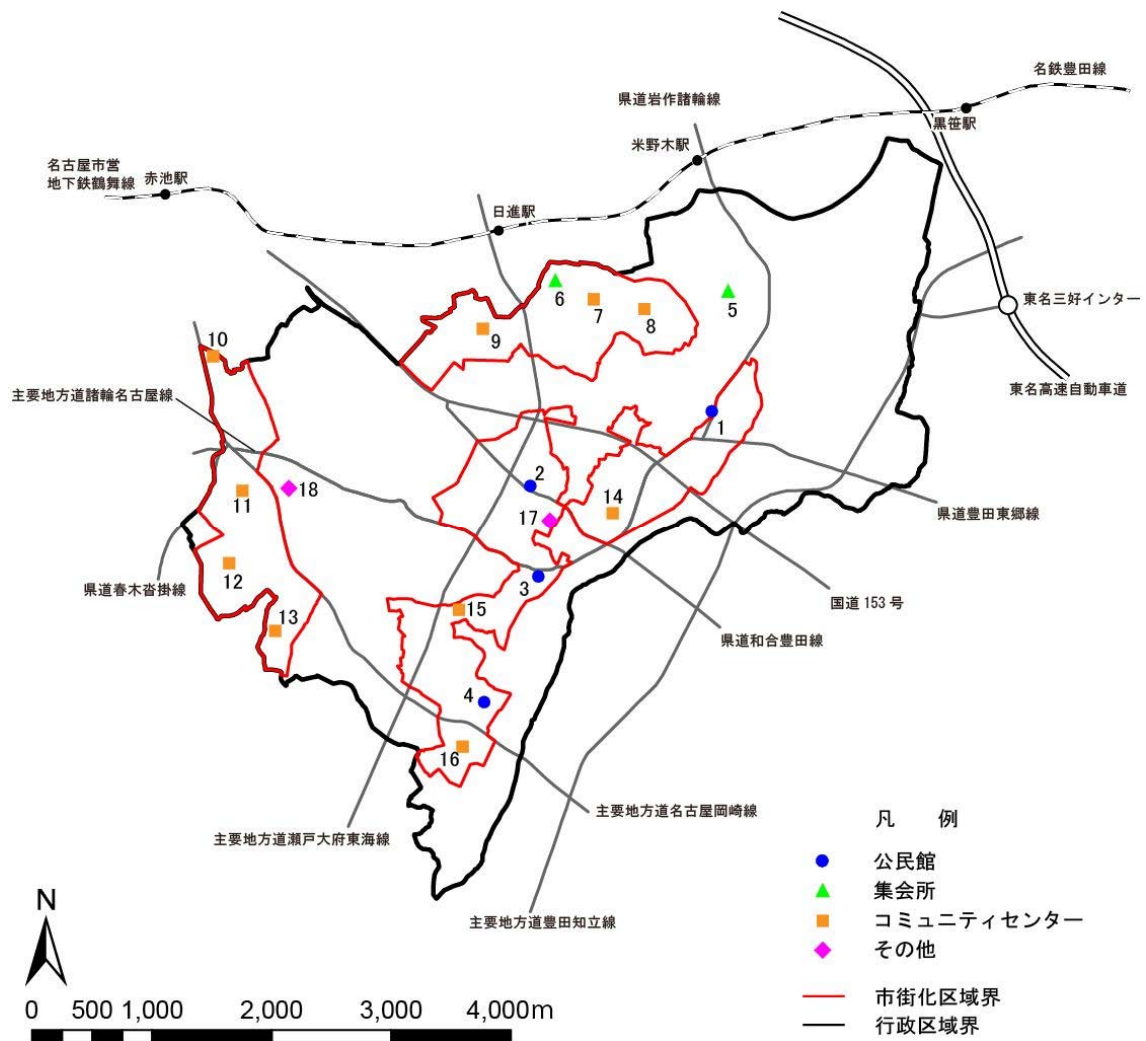


図 高齢者交流施設分布図

6.5 商業施設

商業施設については、スーパーマーケットなど、コンビニエンスストアを対象とし、立地状況の調査を行いました。

町内の商業施設の立地は、スーパーマーケットが5か所です。

隣接市の商業施設のうち、本町からおおむね1kmの範囲に立地しているスーパーマーケットなどは8か所立地しています。

※スーパーマーケットなど：鮮食品や日用品等を主に扱う店舗を対象とし、町内は店舗面積に関係なく抽出しました。隣接市は店舗面積1,000㎡以上を対象としました。

表 スーパーマーケットなど

分類	図面対象番号	施設名
スーパーマーケット	1	パレマルシェ東郷店
	2	株式会社アオキスーパー白鳥店
	3	ドミエ東郷店
	4	株式会社タチヤ東郷店
	5	サンフレッシュ東郷店

(2018. 4. 30 時点)

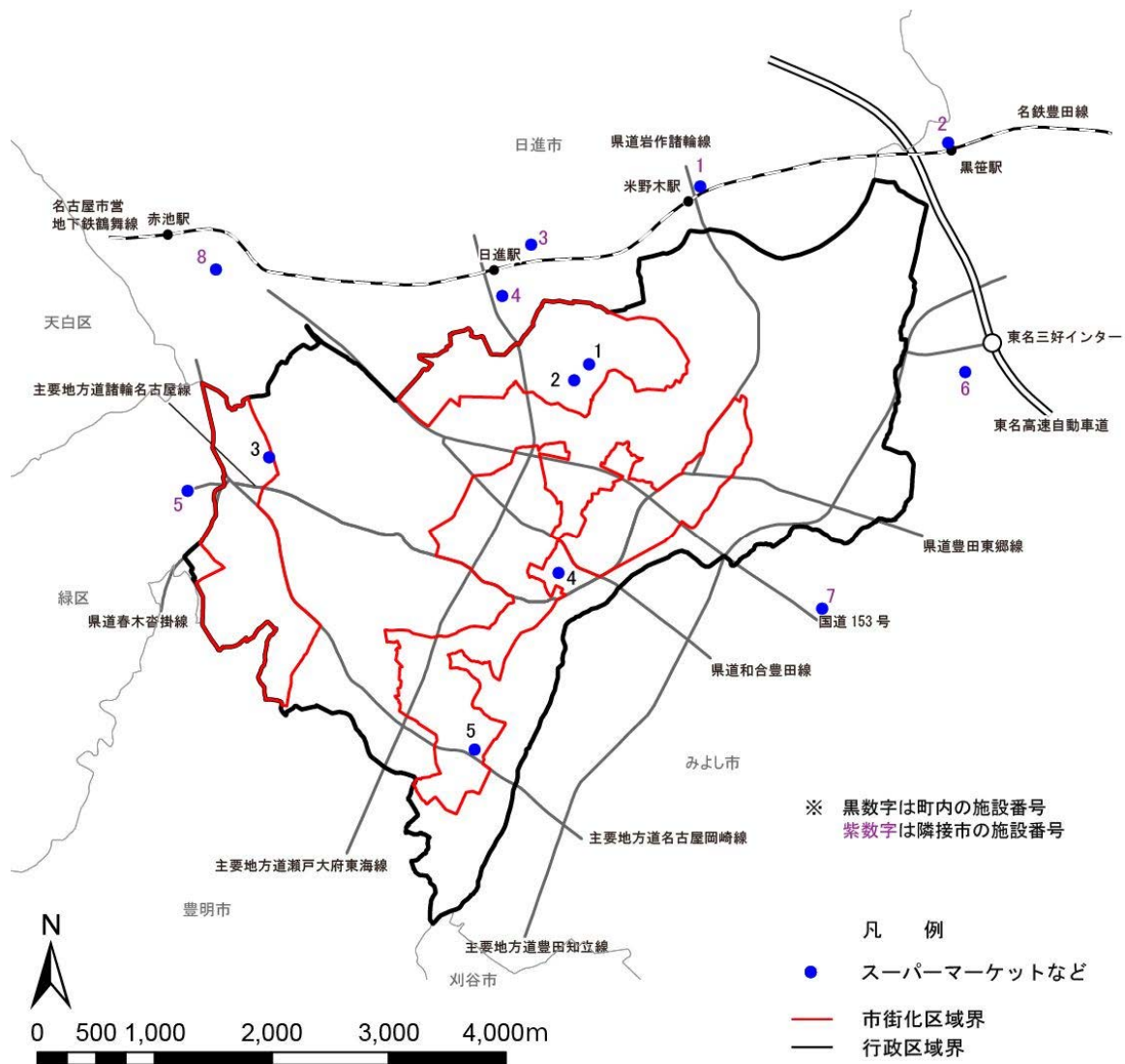
出典：全国大型小売店舗総覧 2015 年版、i タウンページ

<隣接市>

分類	図面対象番号	施設名
スーパーマーケット	1	マックスバリュ中部株式会社米野木店
	2	ピアゴ黒笹店
	3	コープあいち／日進店
	4	フィール日進店
	5	株式会社ヤマナカ／白土フランチ館
	6	ベシア三好店
ショッピングセンター	7	イオン三好店
	8	プライムツリー赤池

(2018. 4. 30 時点)

出典：全国大型小売店舗総覧 2015 年版



出典：全国大型小売店舗総覧 2015 年版、i タウンページ

図 スーパーマーケットなど分布図

町内のコンビニエンスストアの立地は、19 か所です。コンビニエンスストアは町内各所に立地しており、おおむね市街化区域内及びその縁辺部に立地しています。

隣接市の本町からおおむね 1km の範囲に立地しているコンビニエンスストアは 18 か所立地しています。

表 コンビニエンスストア

図面 対象 番号	施設名	図面 対象 番号	施設名
1	ミニストップ/愛知池店	11	セブン - イレブン/東郷いこまい館前店
2	ファミリーマート/東郷白鳥店	12	ファミリーマート/東郷諸輪店
3	ファミリーマート/東郷高嶺店	13	ファミリーマート/東郷諸輪東店
4	セブン - イレブン/東郷町和合北蚊谷店	14	セブン - イレブン/東郷町春木台店
5	ファミリーマート/東郷白土店	15	ファミリーマート/東郷山崎店
6	ローソン/東郷春木藤坂店	16	ファミリーマート/東郷清水ケ根店
7	ミニストップ/音貝店	17	ファミリーマート/東郷春木店
8	ファミリーマート/東郷三ツ池三丁目店	18	ファミリーマート/東郷町和合店
9	セブン - イレブン/東郷町三ツ池 4 丁目店	19	ローソン/東郷春木太子店
10	ファミリーマート/東郷新池店		

(2018. 4. 30 時点)

出典：i タウンページ、各社ホームページ

<隣接市>

図面 対象 番号	施設名	図面 対象 番号	施設名
1	ミニストップ日進折戸町店	11	ファミリーマート/みよし新屋店
2	ファミリーマート/日進駅店	12	ファミリーマート/三好井之口店
3	サークルK/日進栄三丁目店	13	セブン - イレブン/みよし天王店
4	セブン - イレブン/日進梨子ノ木店	14	セブン - イレブン/みよし三好町店
5	セブン - イレブン/みよし黒笹店	15	ファミリーマート/三好姥子店
6	ローソン/緑区神ノ倉店	16	セブン - イレブン/みよし福田町店
7	セブン - イレブン/名古屋藤塚店	17	セブン - イレブン/NBS プライムツリー赤池
8	ファミリーマート/東名三好インター店	18	セブン - イレブン/みよしあざぶ S S
9	ローソン/東名三好インター店		
10	ファミリーマート/三好あざぶ店		

(2018. 4. 30 時点)

出典：i タウンページ、各社ホームページ

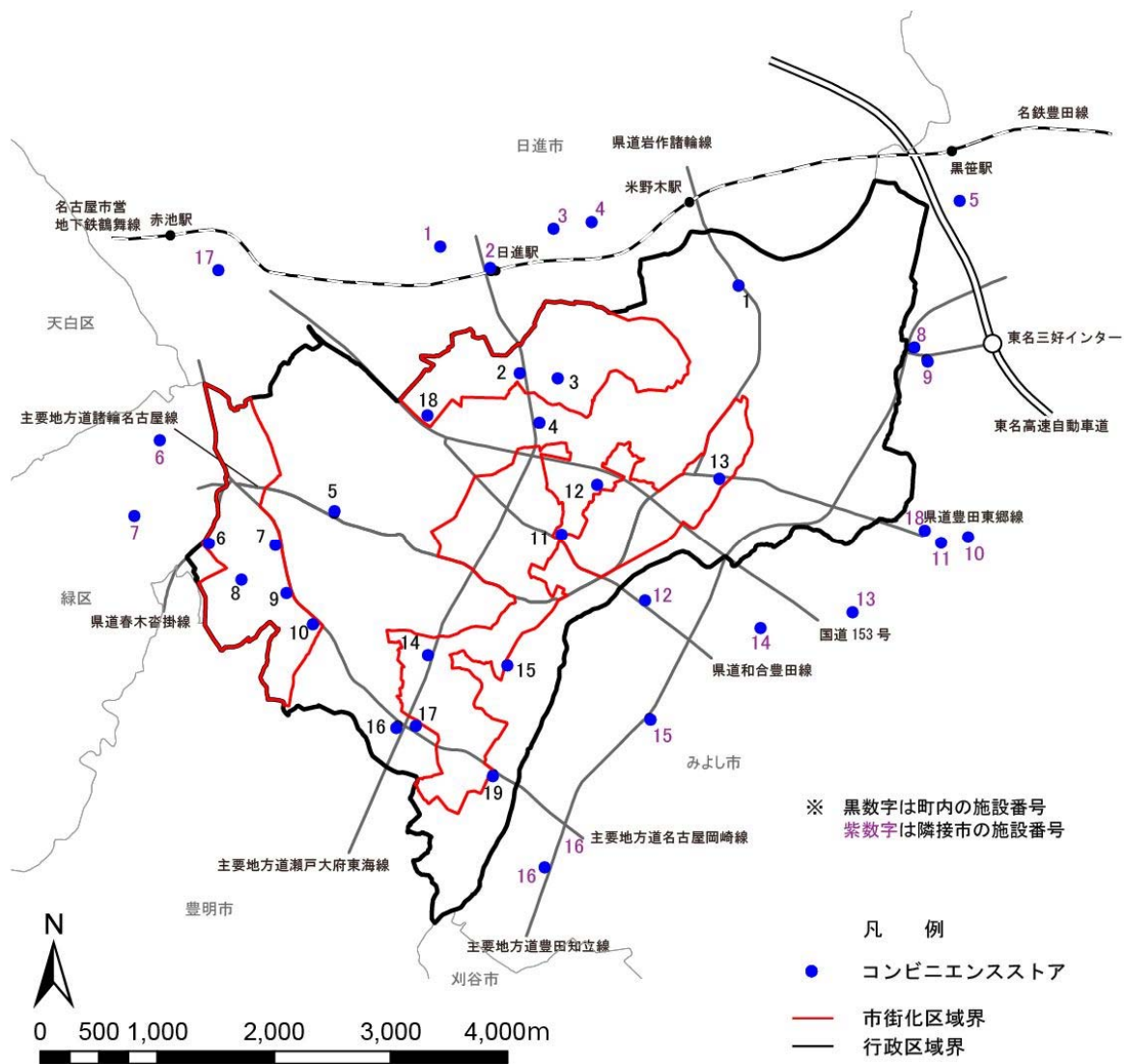


図 コンビニエンスストア分布図

7. 公共交通網

公共交通網については、バス（路線バス、コミュニティバス）を対象としました。

バス路線は、路線バス 4 路線とコミュニティバス 3 ルートがあり、駅や主な施設等を結ぶネットワークを形成しています。

運行本数は、路線バスの星ヶ丘・豊田線（赤池駅-三好西口）が片道 65 本以上（ピーク時 6 本）、祐福寺線（赤池駅-祐福寺）が片道 30 本以上（ピーク時 3 本）※となっています。上述の 2 路線に比べますと、その他の路線バスやコミュニティバスの運行本数は少ない状況です。

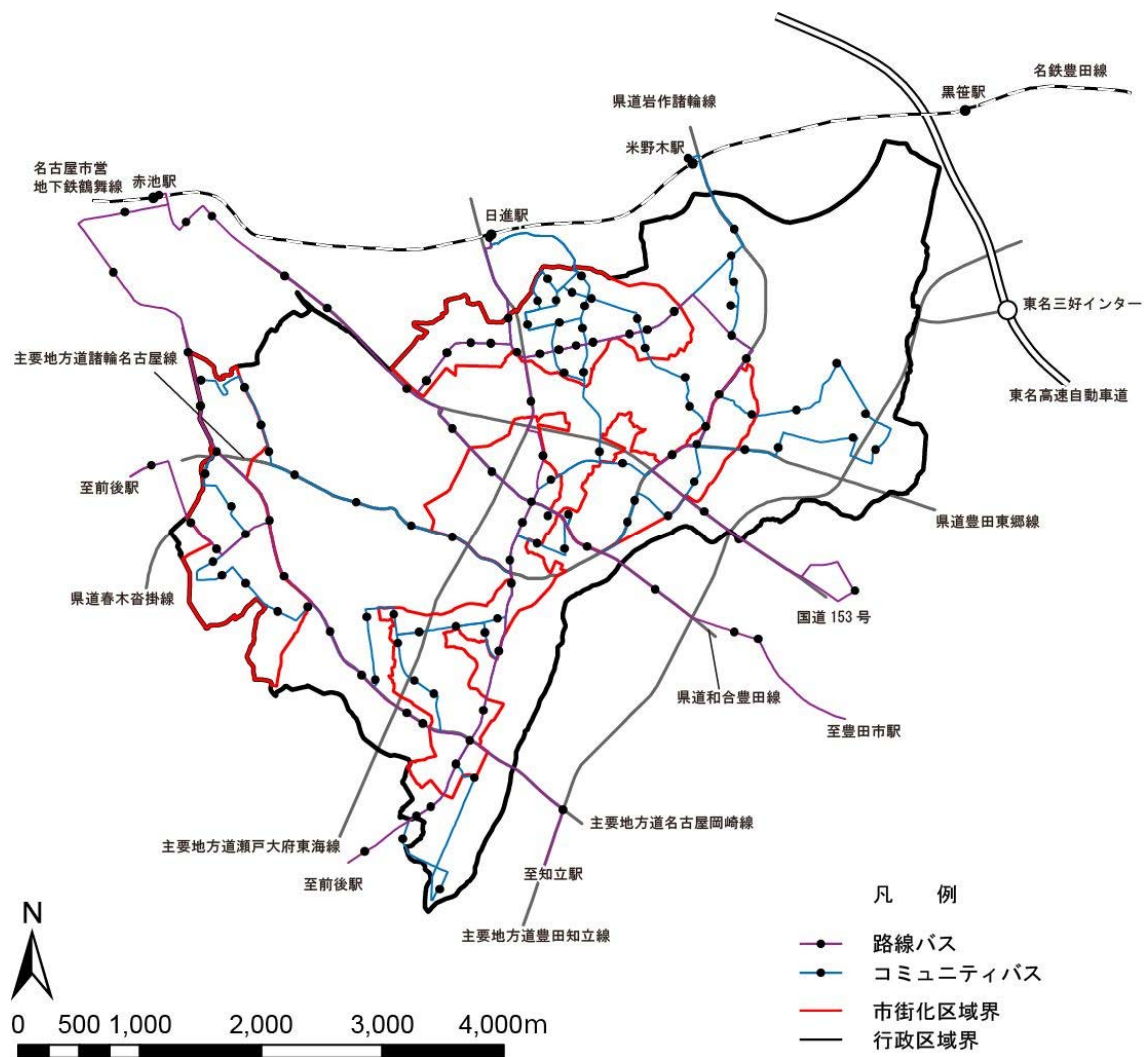
※ 祐福寺線（赤池駅-祐福寺）は赤池駅-前後駅の運行本数を加えますと、片道 37 本以上（ピーク時 4 本）です。

表 運行本数

種別	路線名	運行本数			備考
		上り (左回り)	下り (右回り)	ピーク時	
路線バス	星ヶ丘・豊田線	68	65	6	赤池駅-三好西口
	星ヶ丘・豊田線	7	6	1	赤池駅-イオン三好店 アイモール前
	豊明団地線	11	11	1	赤池駅-前後駅
	祐福寺線	7	7	1	赤池駅-前後駅
	祐福寺線	31	30	4	赤池駅-祐福寺
	愛教大線	12	12	2	日進駅-知立駅
コミュニティバス	西コース	6	6	1	
	北コース	9	9	1	
	南北コース	5	4	1	

(2018. 4. 30 時点)

出典：東郷町ホームページ、名鉄バスホームページ



(2018. 4. 30 時点)

出典：東郷町ホームページ、名鉄バスホームページ

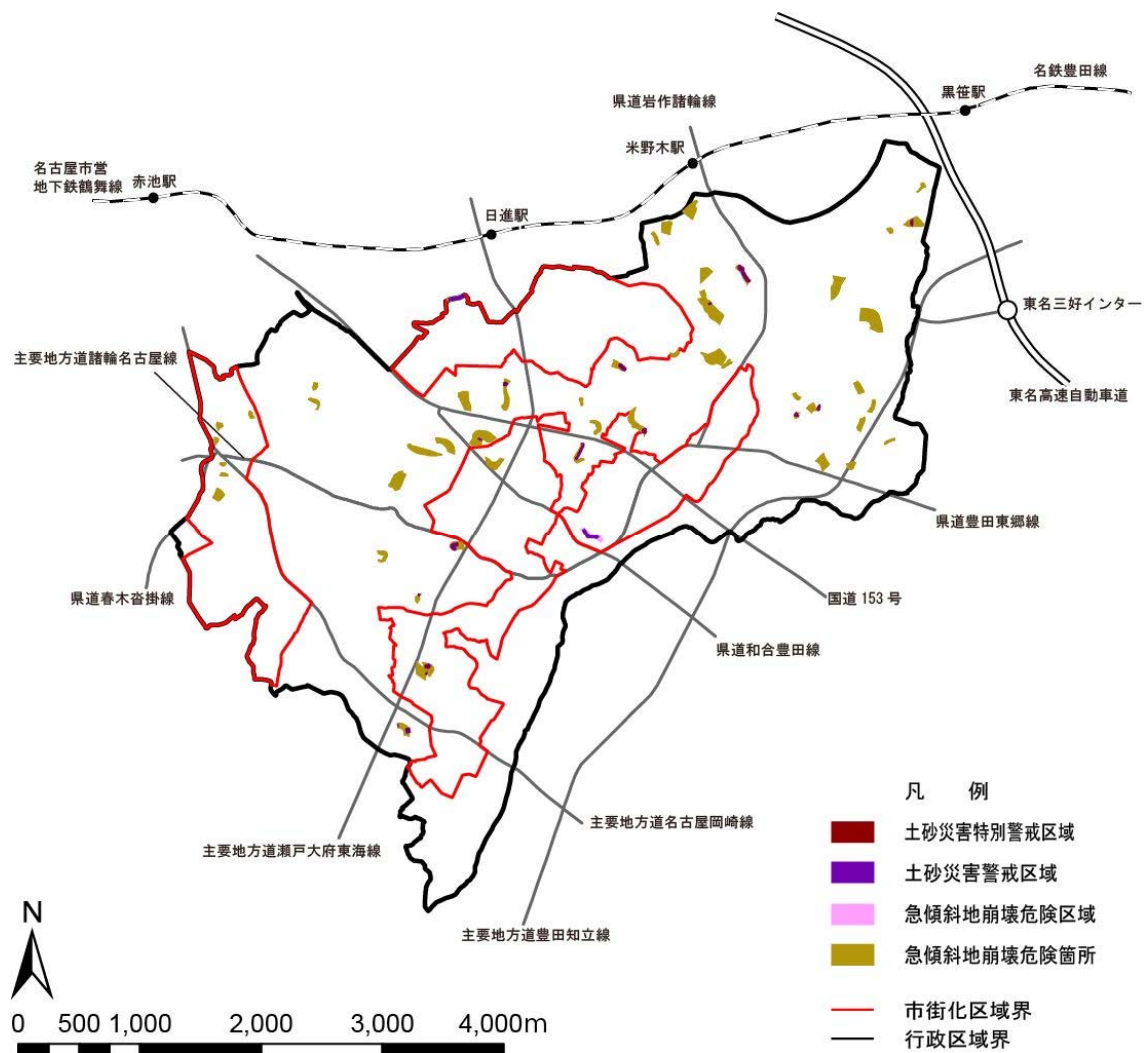
図 バス路線図

8. 災害危険性

8.1 土砂災害の危険性

本町には、急傾斜地崩壊危険箇所が点在しています。土砂災害の危険性が高い、土砂災害特別警戒区域及び土砂災害警戒区域については、市街化区域内に土砂災害特別警戒区域が4か所、土砂災害警戒区域が5か所みられます。

また、急傾斜地の崩壊による災害の防止に関する法律（昭和44年法律第57号）第3条第1項に規定する急傾斜地崩壊危険区域が中部地域の北山台地区に1か所みられます。



(2018.6.26時点)

出典：愛知県砂防GISデータ、愛知県告示

図 土砂災害区域図

8.2 浸水の危険性

本町で一時的に大量の降雨が生じた場合、この降雨が下水道・河川等に排水できないことによって発生が予想される浸水の区域は、主に境川周辺の市街化調整区域に多くみられ、境川多目的広場付近や部田地区の雇用促進住宅東郷宿舍付近で浸水深が 1.0m 以上と予測されています。



出典：東郷町境川流域都市浸水想定区域図

図 都市浸水想定区域図

9. 財政

主な財政指標について周辺市と比較したものが下表です。

本町の財政力指数は 0.90、経常収支比率は 91.2 であり、周辺市と比べますと財政力指数は低く、経常収支比率は中間的な位置です。

将来負担比率は充当可能財源等が将来負担額を上回っており、将来にわたって健全で安定した財政であることがうかがえます。

表 主な財政指標の周辺市町との比較

	財政力指数	経常収支比率	将来負担比率
東郷町	0.90	91.2	－
愛知県全体	0.92	98.8	197.3
名古屋市	0.99	97.5	147.4
豊明市	0.91	83.0	－
日進市	1.00	82.6	－
みよし市	1.16	71.0	－

※「－」：充当可能財源等が将来負担額を上回っている団体

出典：地方公共団体の主要財政指標一覧（2015 年度、総務省）

財政力指数： 地方公共団体の財政力を示す指数で、基準財政収入額を基準財政需要額で除して得た数値の過去 3 年間の平均値。財政力指数が高いほど、普通交付税算定上の留保財源が大きいことになり、財源に余裕があるといえます。

経常収支比率： 地方税、普通交付税のように用途が特定されておらず、毎年度経常的に収入される一般財源（経常一般財源）のうち、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費（経常的経費）に充当されたものが占める割合のこと。低ければ低いほど財政運営に弾力性があり、政策に使えるお金が多くあることを示しています。

将来負担比率： 自治体が将来負担する必要がある実質的な負債額が、その自治体の財政の大きさに占める割合を示したもの。将来負担比率では一定値（都道府県と政令市は 400%、政令市を除く市は 350%）が早期健全化基準となっており、これを上回った場合には財政健全化計画を策定し、その内容に沿った取り組みを実施していくことになっています。

資料Ⅲ. 年齢3区分別将来人口

1. 年少人口

2017 年の年少人口はおおむね市街化区域内に分布しており、20 人未満の分布が多い状況です。

2042 年も 2017 年と同様の傾向にありますが、年少人口全体では約 1,500 人減少します。市街化西部で減少するメッシュが多く分布しています。

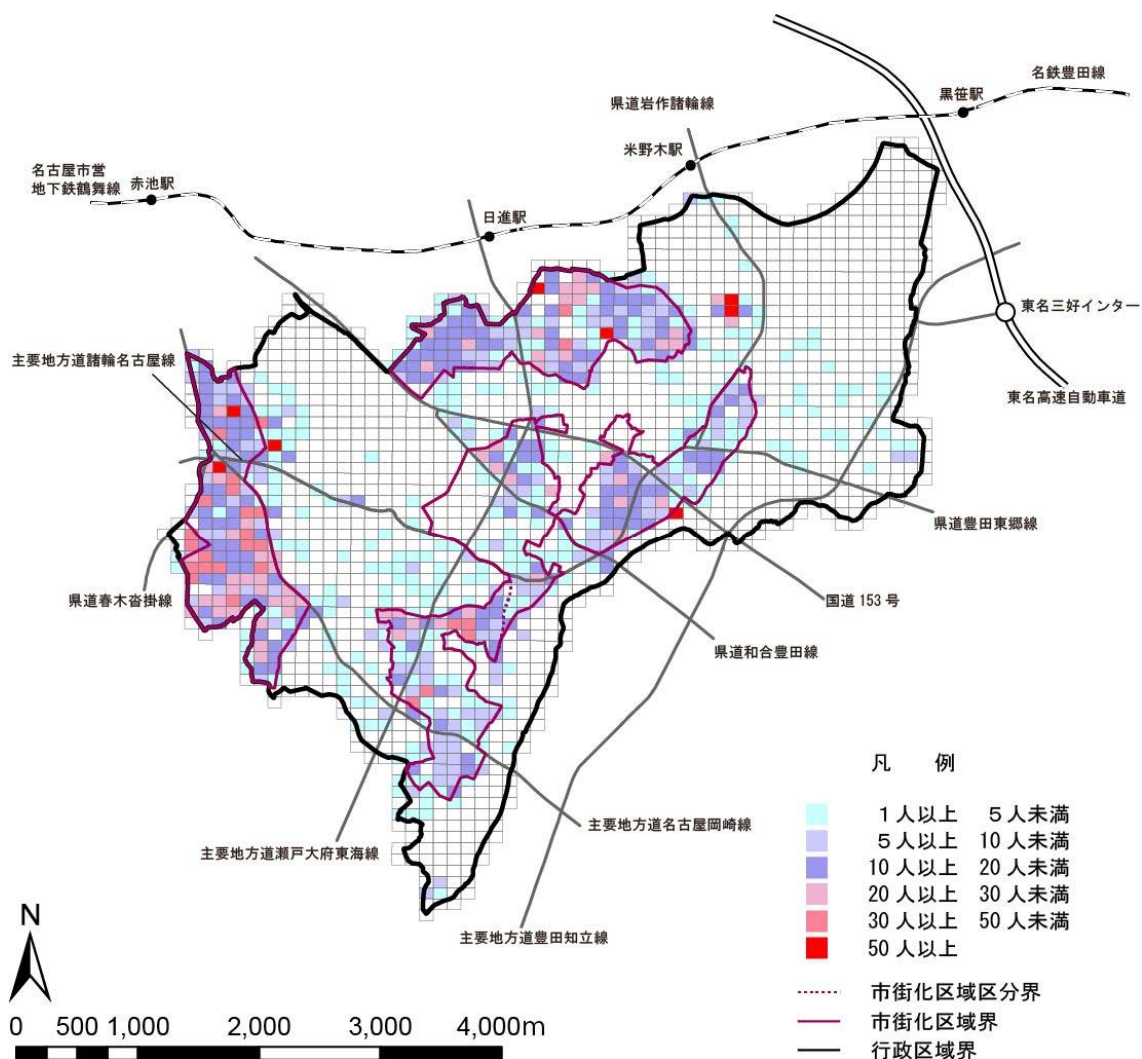


図 年少人口分布（2017 年）

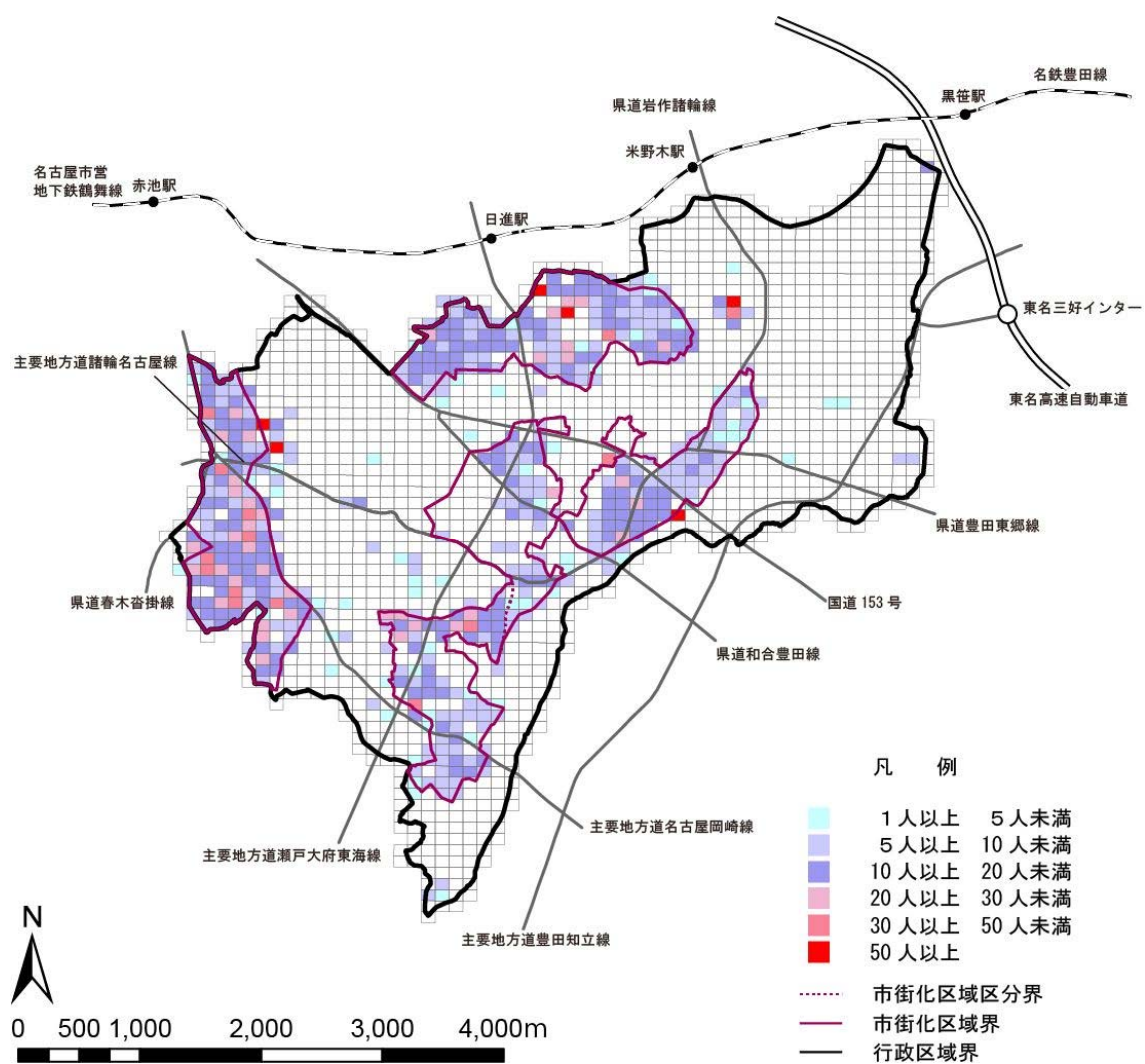


図 年少人口分布（2042年）

	年少人口（人）	
	2017 年	2042 年
全町	7,059	5,544
市街化区域	5,965	4,852
市街化北部	1,626	1,353
市街化東部	782	691
市街化中部	460	360
市街化南部	841	741
市街化西部	2,256	1,707
市街化調整区域	1,094	692

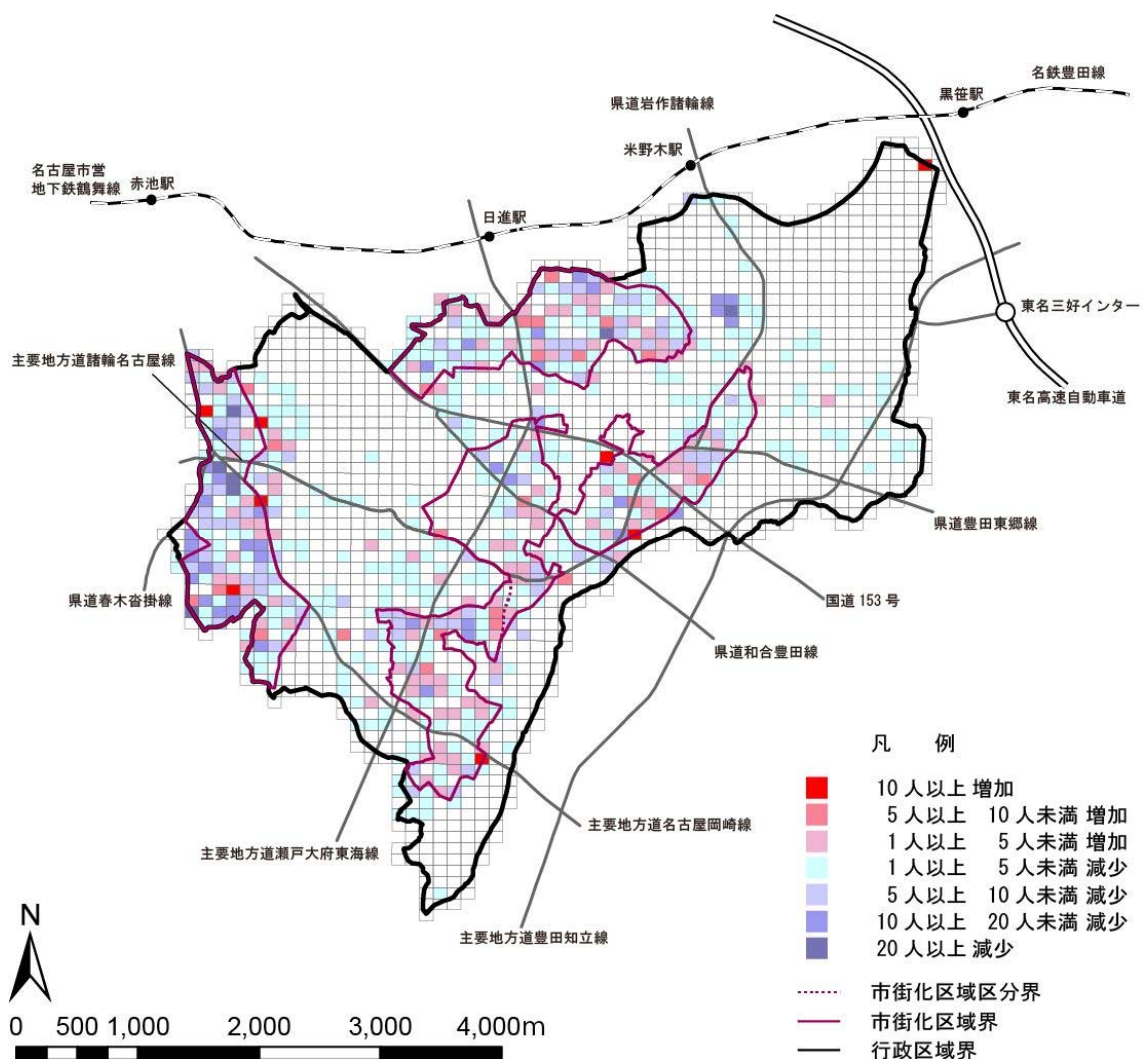


図 年少人口増減（2017-2042 年）

2. 生産年齢人口

2017 年の生産年齢人口は、市街化北部の和合ヶ丘、白鳥、押草団地、御岳、市街化東部の北山台、市街化南部の春木台、市街化西部全体に多く分布しています。

2042 年も 2017 年と同様の傾向にありますが、生産年齢人口全体は約 3,500 人減少します。市街化北部で減少するメッシュが多く分布しています。

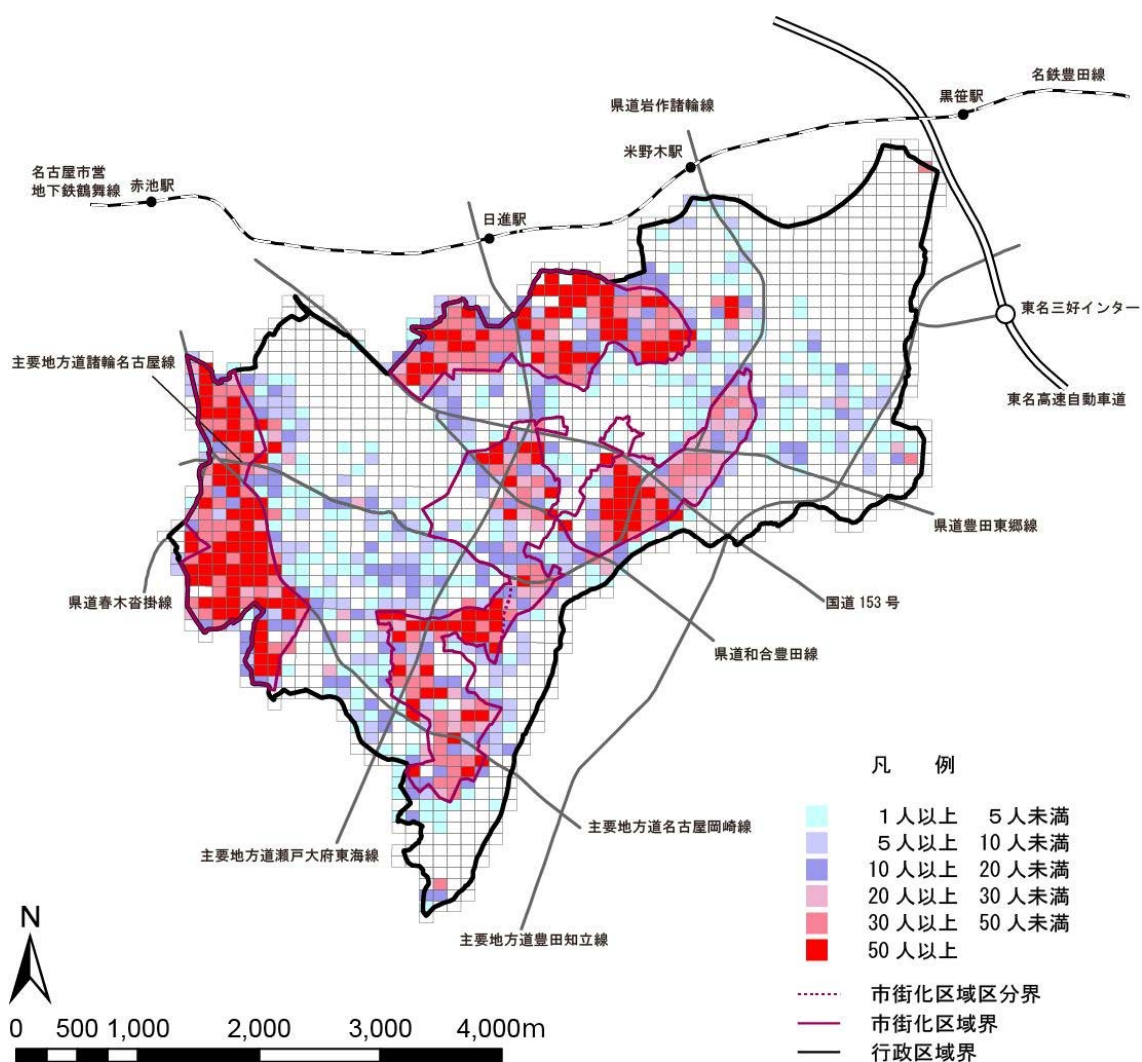


図 生産年齢人口分布（2017 年）

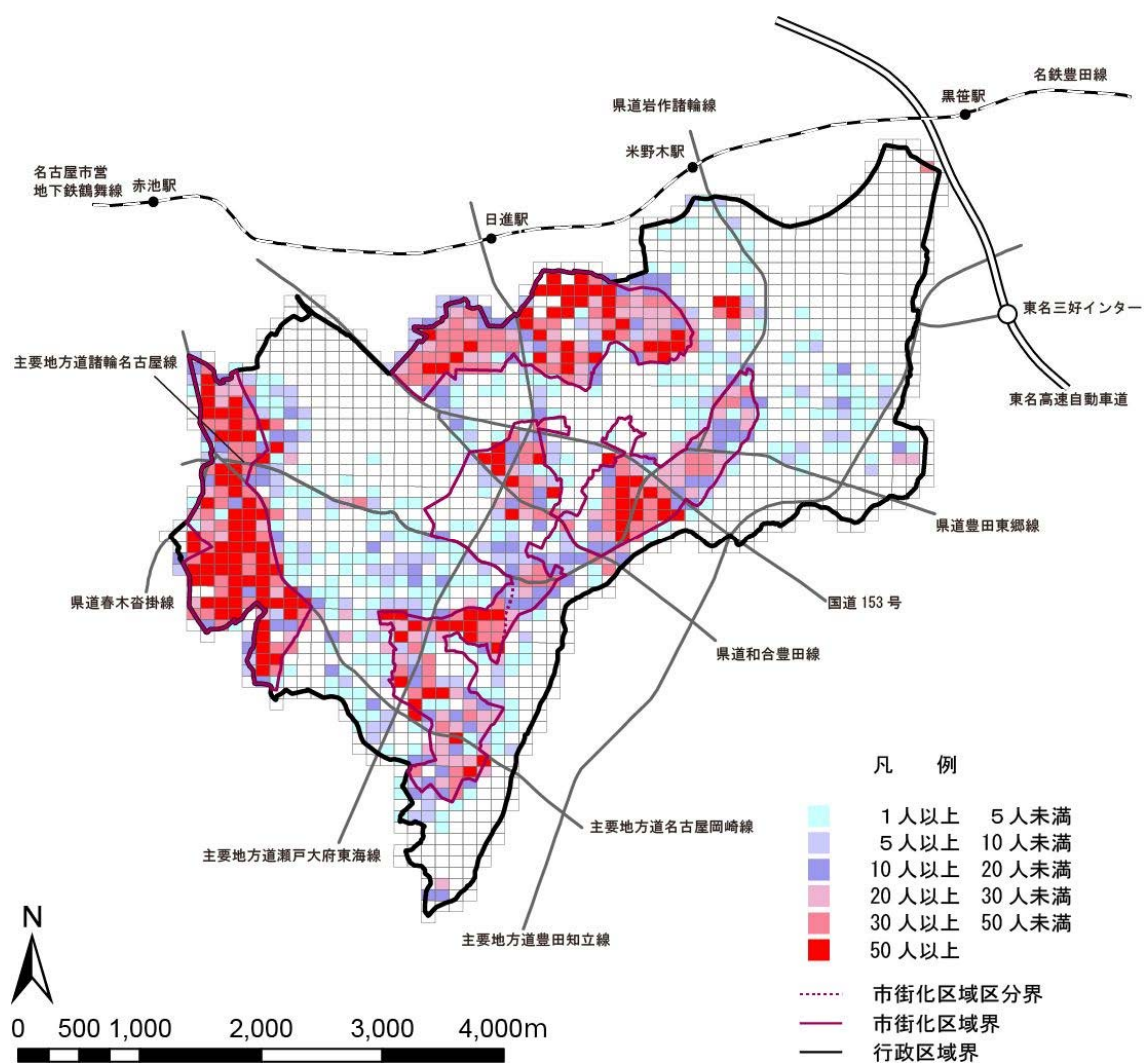


図 生産年齢人口分布（2042年）

	生産年齢人口（人）	
	2017 年	2042 年
全町	26,655	23,185
市街化区域	22,043	19,525
市街化北部	6,490	5,473
市街化東部	3,113	2,680
市街化中部	1,825	1,548
市街化南部	3,488	2,979
市街化西部	7,127	6,845
市街化調整区域	4,612	3,660

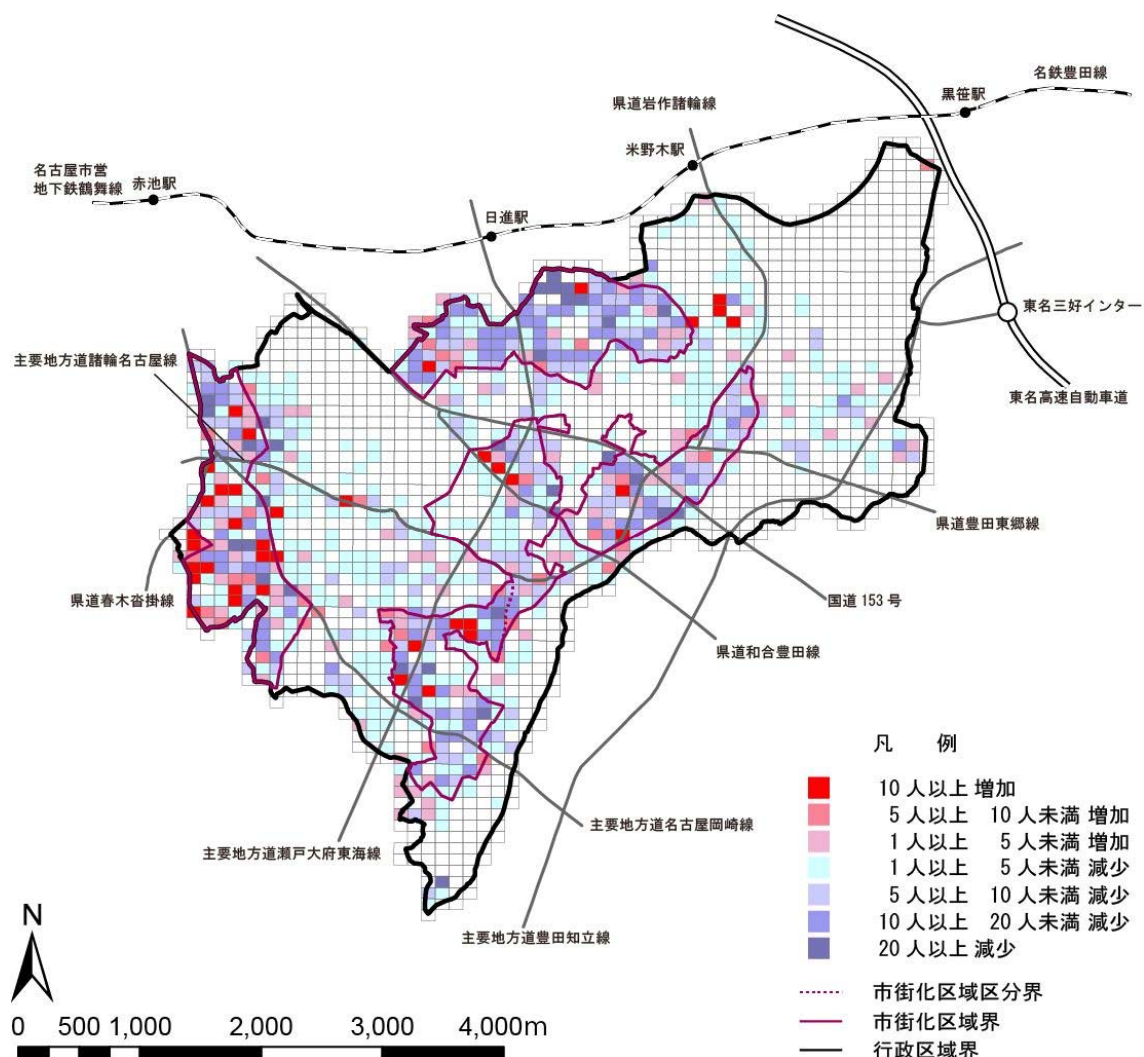


図 生産年齢人口増減（2017-2042 年）

3. 老年人口

2017 年の老年人口は、市街化北部の和合ヶ丘、押草団地、御岳、市街化南部の春木台、市街化西部の白土に多く分布し、特に市街化北部の押草団地では 50 人以上のメッシュがまとまって分布しています。

2042 年も 2017 年と同様の傾向にありますが、老年人口全体は約 4,100 人増加します。市街化西部で増加するメッシュが多く分布しています。

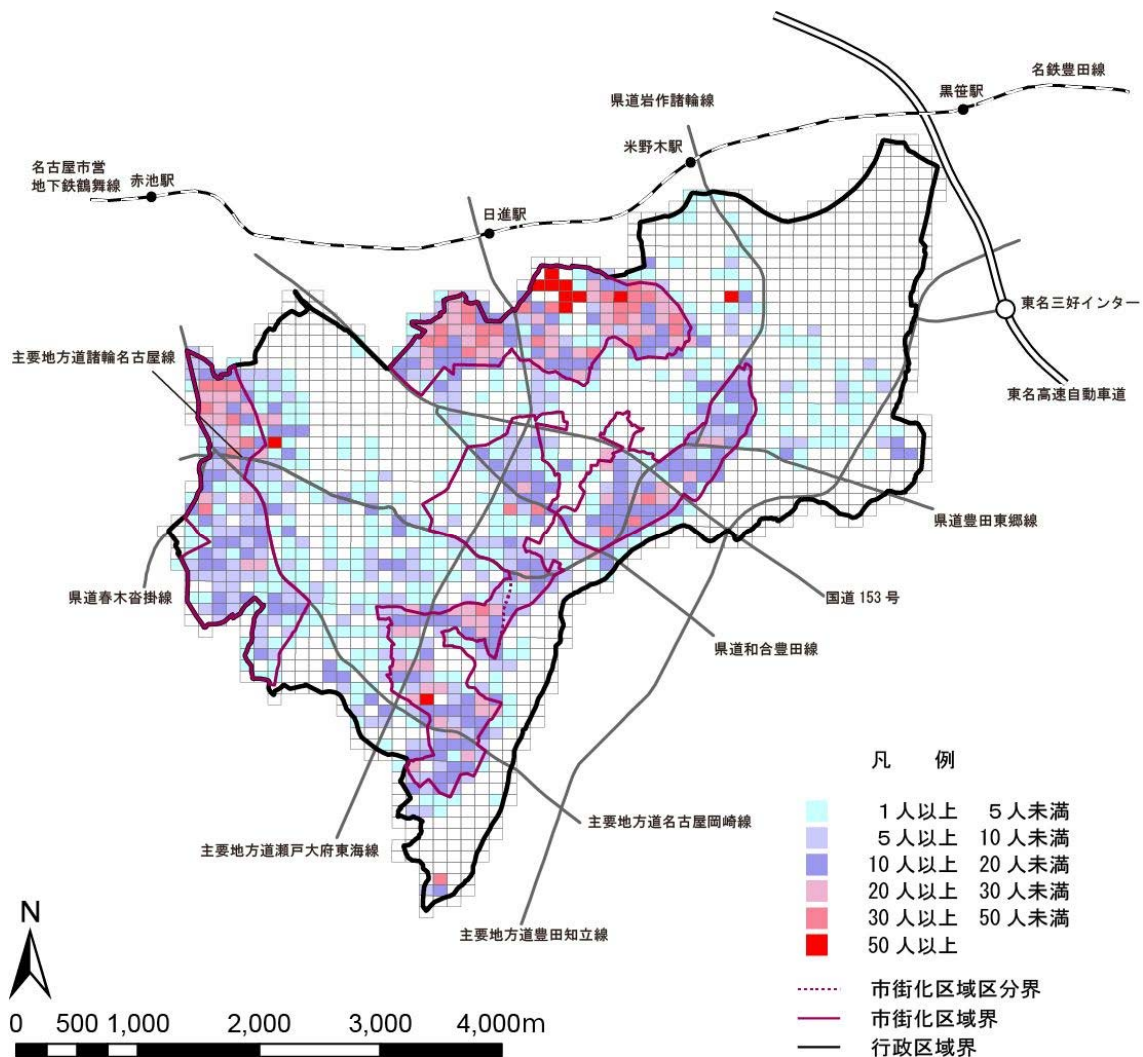


図 老年人口分布（2017 年）

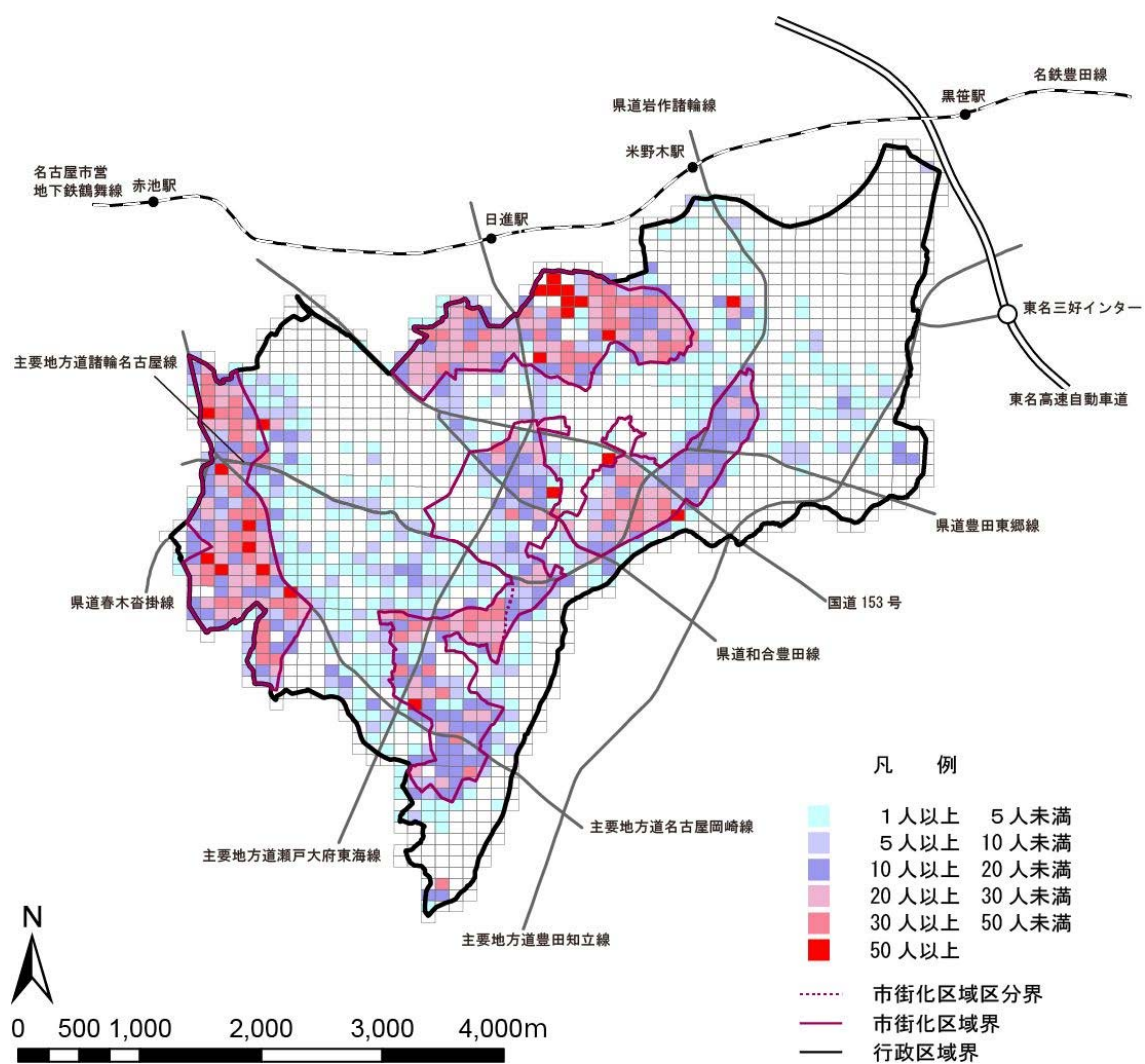


図 老年人口分布（2042 年）

	老年人口（人）	
	2017 年	2042 年
全町	9,540	13,592
市街化区域	7,533	11,069
市街化北部	3,104	3,466
市街化東部	1,065	1,591
市街化中部	624	938
市街化南部	1,299	1,755
市街化西部	1,441	3,319
市街化調整区域	2,007	2,523

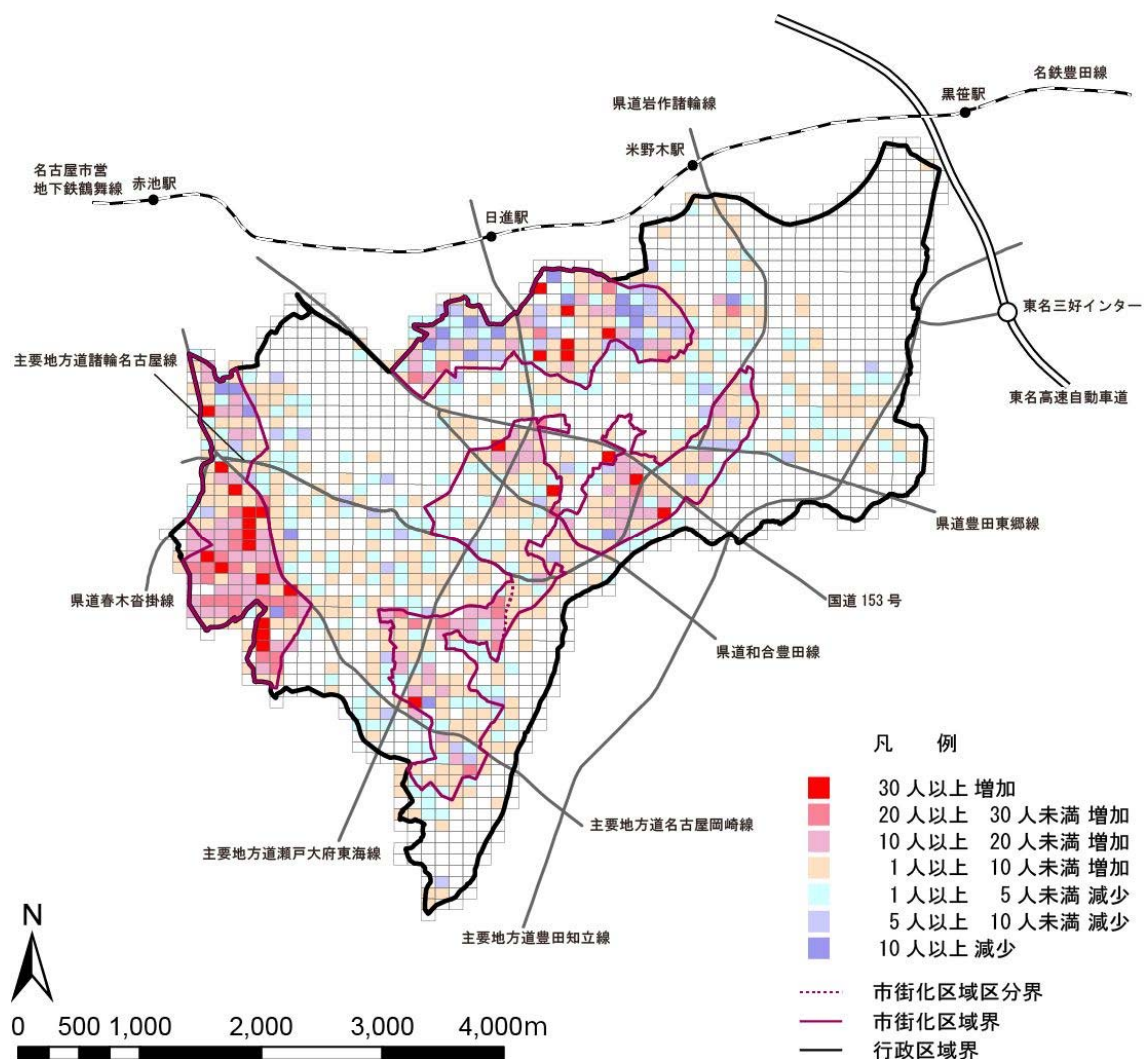


図 老年人口増減（2017-2042 年）